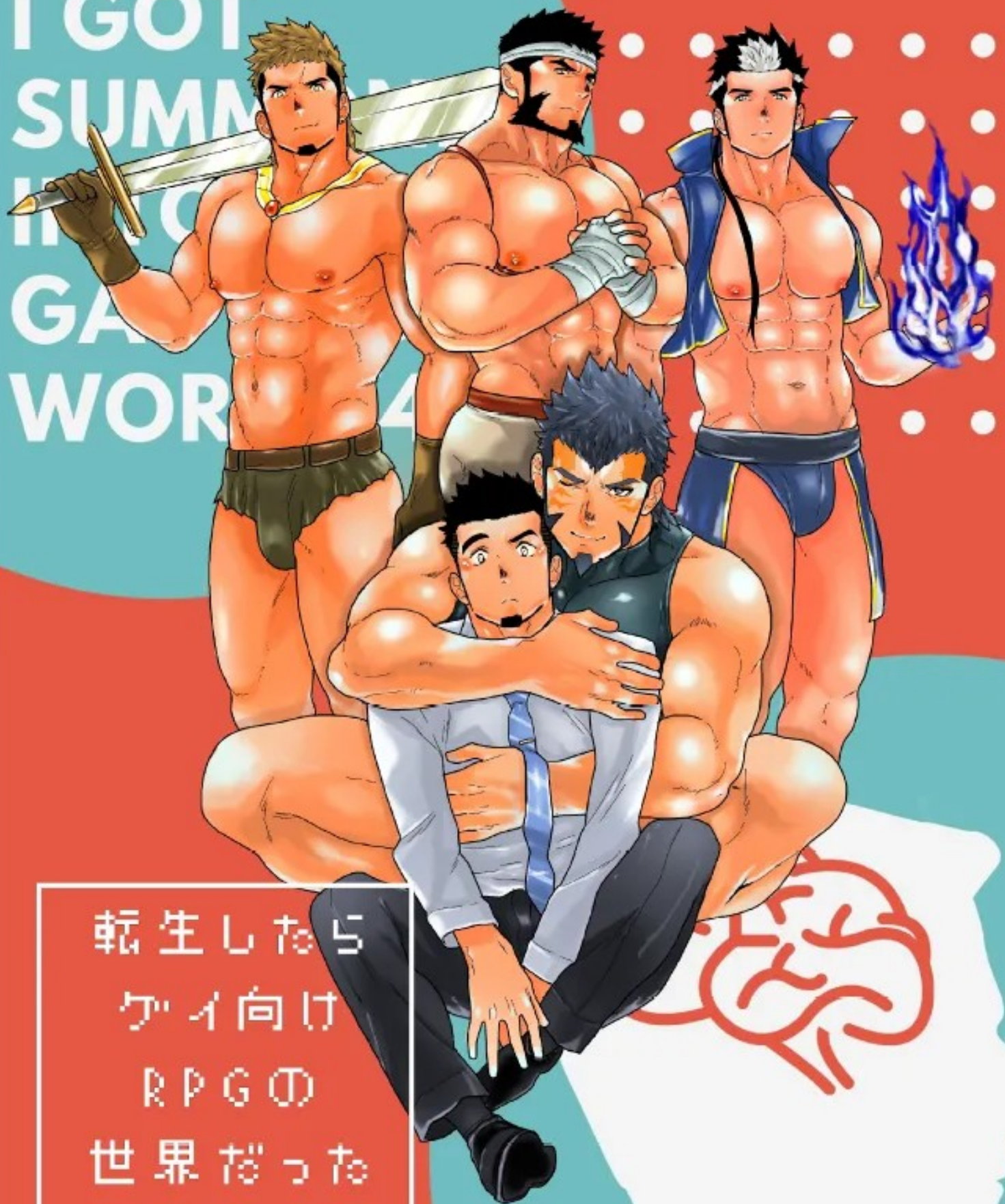


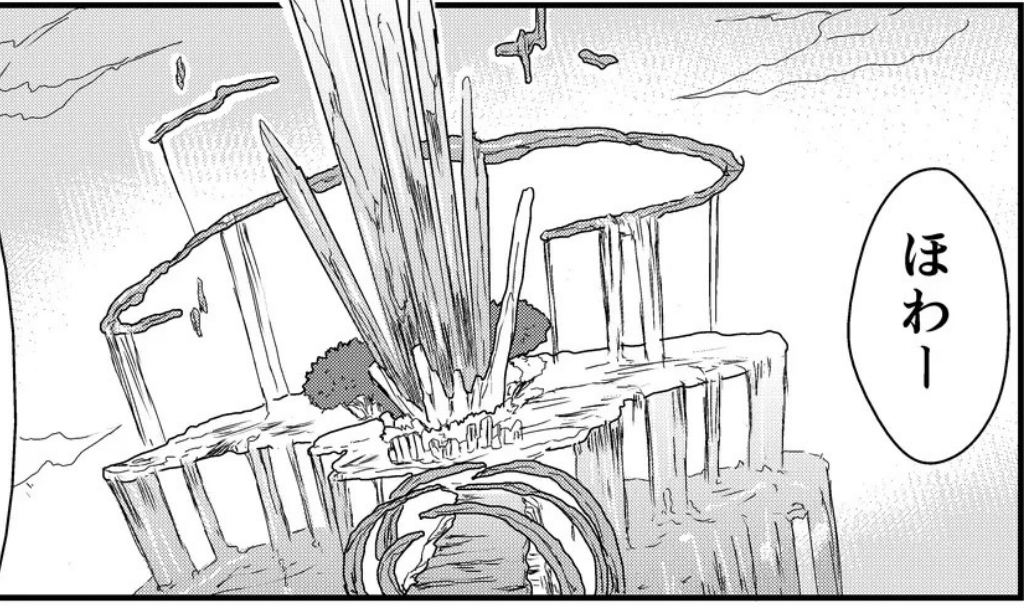
I GOT
SUMMER
IN
GAMES
WORLD



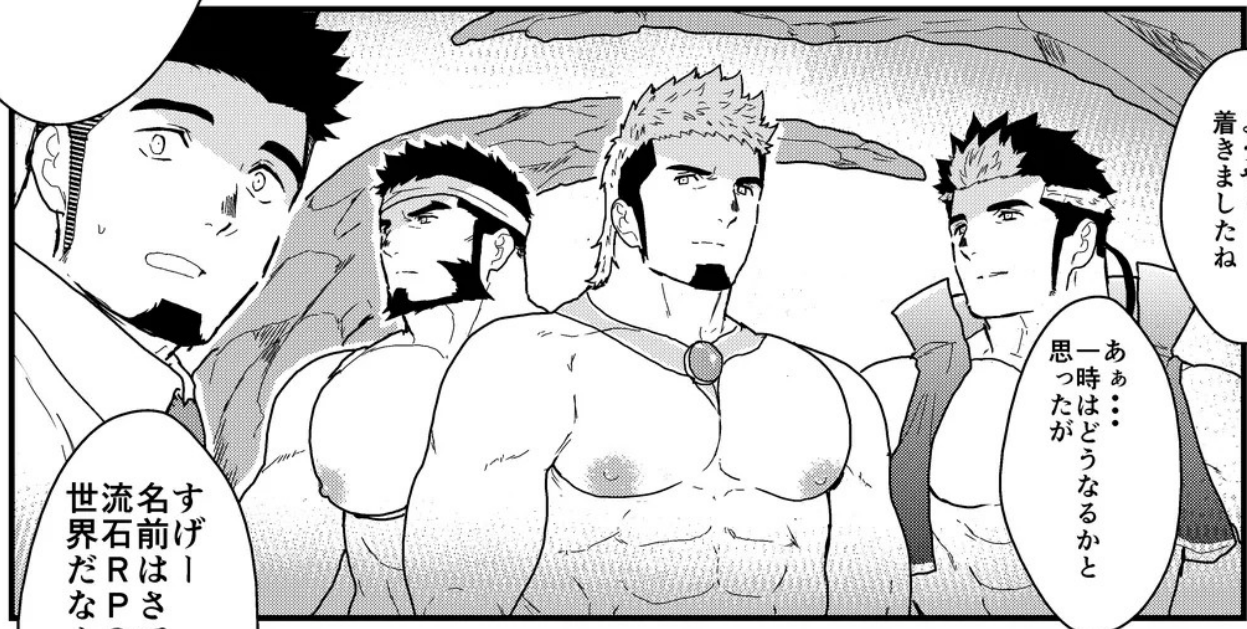
転生したら
カイ向け
RPGの
世界だった
件に
ついて。



ここが
水の街
ヨウツベメルカリ
ラクテン市場……



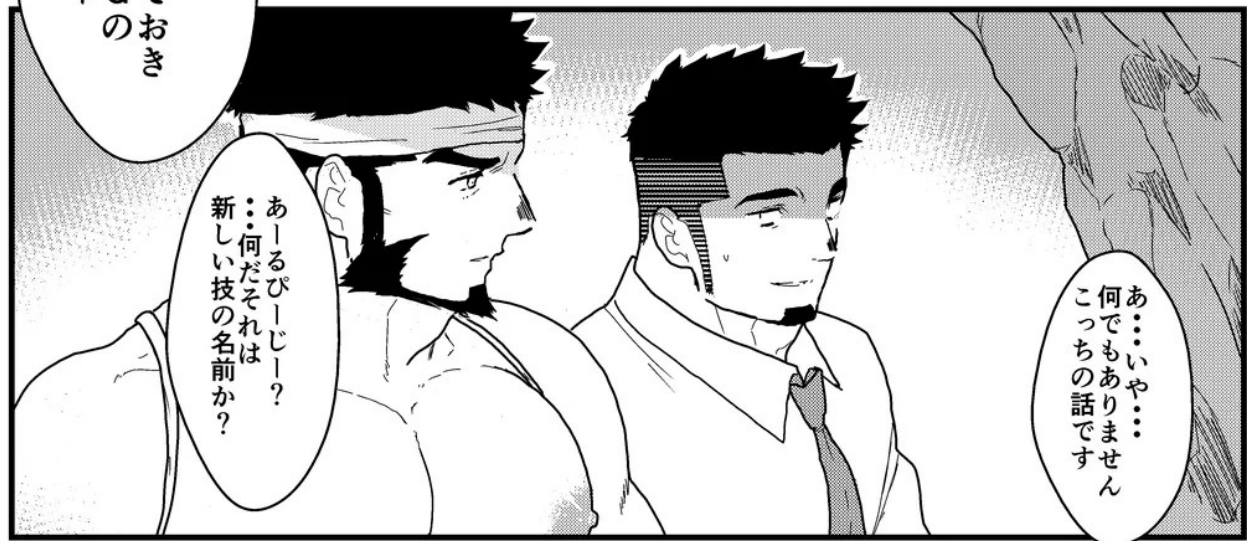
ほわー



ようやく
着きましたね

ああ……
一時はどうなるかと
思ったが

すげー
名前はさておき
流石RPGの
世界だなー



あーるびーじー？
……何だそれは
新しい技の名前か？

あ……いや……
何でもありません
こっちの話です



よりにもよって
同人販売用の
ゲイ向けRPGの
世界に

そう：
俺は今
RPGの
世界にいる



事の発端は
突然の事故死

通勤中
トラックに
撥ねられ

気がつく
真つ暗な
異空間に
俺はいた

そこで聞こえた
自称「天の声」の
言葉で
俺は強制的に
転生させられ
この世界に飛ばされる
はめに……



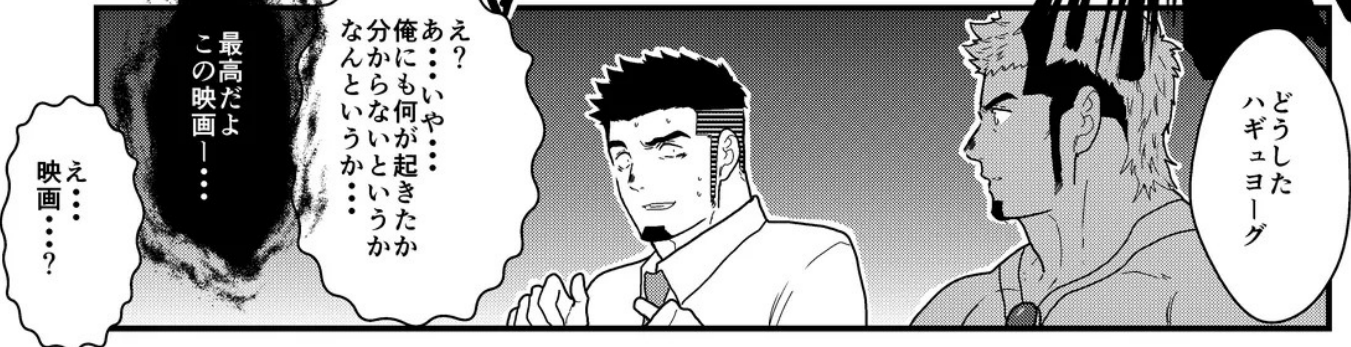
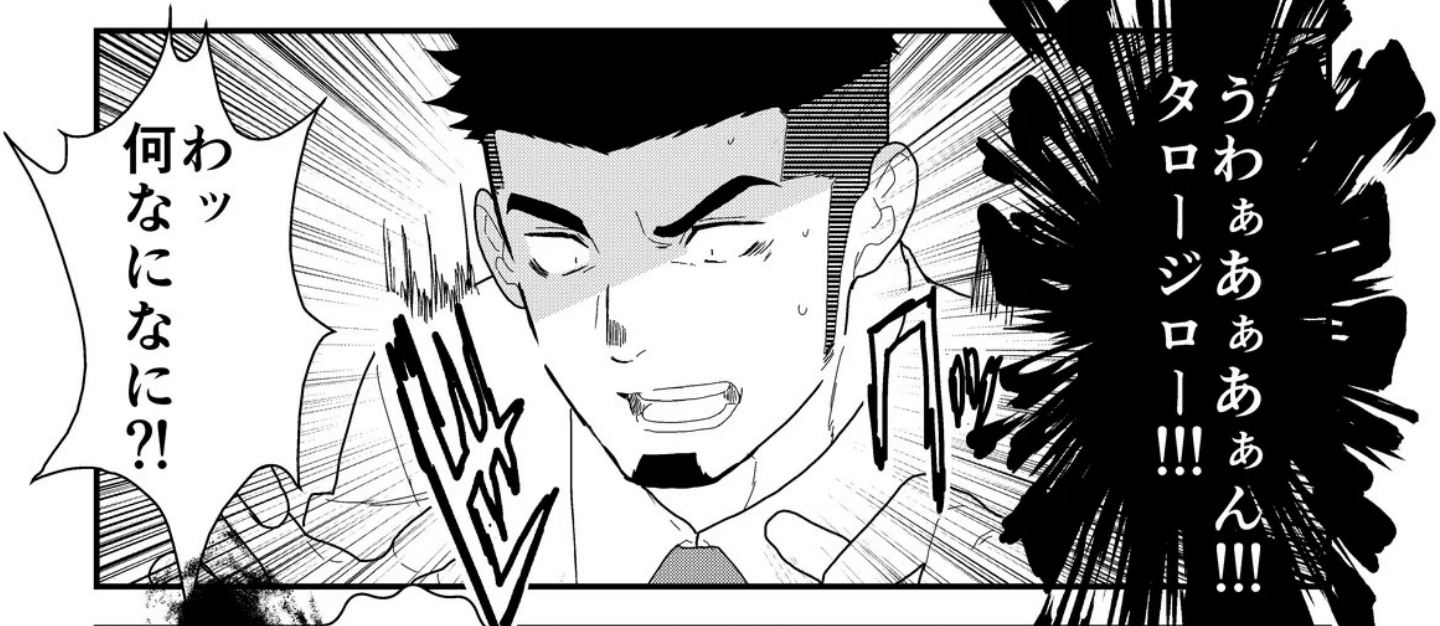
そして
道中
仲間になった
この世界のキャラ達

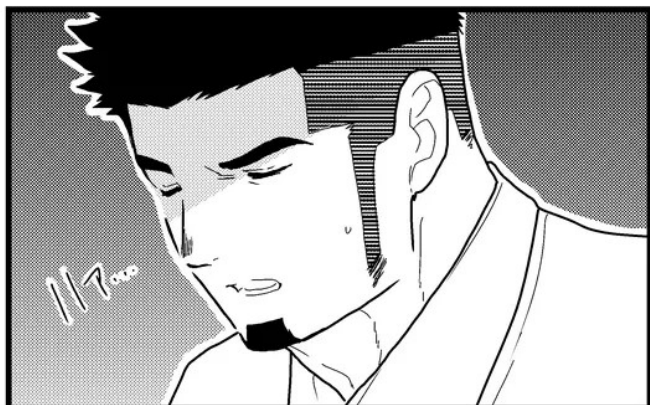
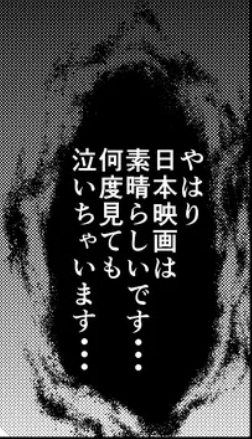


武闘家
ゼルノスさん

魔導士
ミカエラさん

剣闘士
ガルグさん





デメエ!!!
人がこの世界で頑張ってる時に
何悠長に感動してやがんだ
このクソ野郎!!!



リヴァイアサン…



リヴァイアサン…？

り…



ええ…

そうか…
ミカエラも
神の力を借りる為に…

げーむ…？

あ、
すみません
なんでもないです

リヴァイアサンって…
あのゲームによく
出てくる龍の…

俺も同じ目的だ
その為に
この街に来た…



黒の存在を
倒す為に…

黒の
存在…

グワ…

そう…
この世界には
もう一つ
「黒の存在」という
謎のキャラがいる

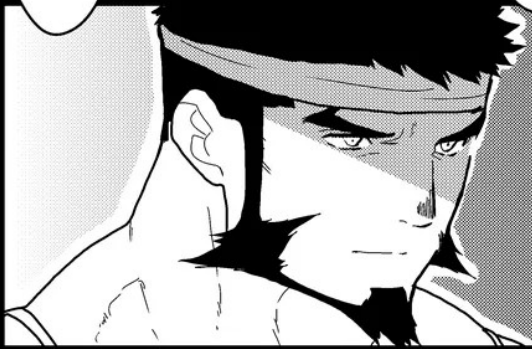
天の声すらも
作っていないという
正体不明の敵…

…一体…
何なんですか？
その黒の存在って…

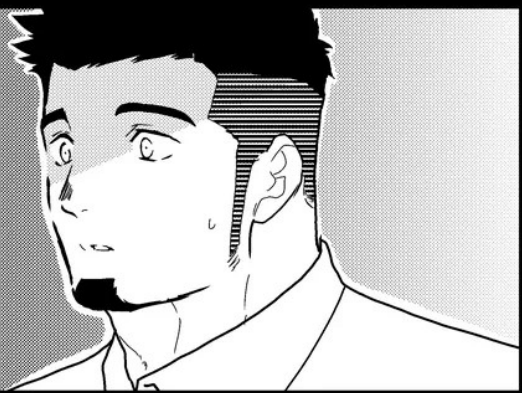
裏で魔物に力を
貸しているっていうのは
聞きましたけど…

…まだ
その存在自体は
分からない…

…ただ…



…え…？

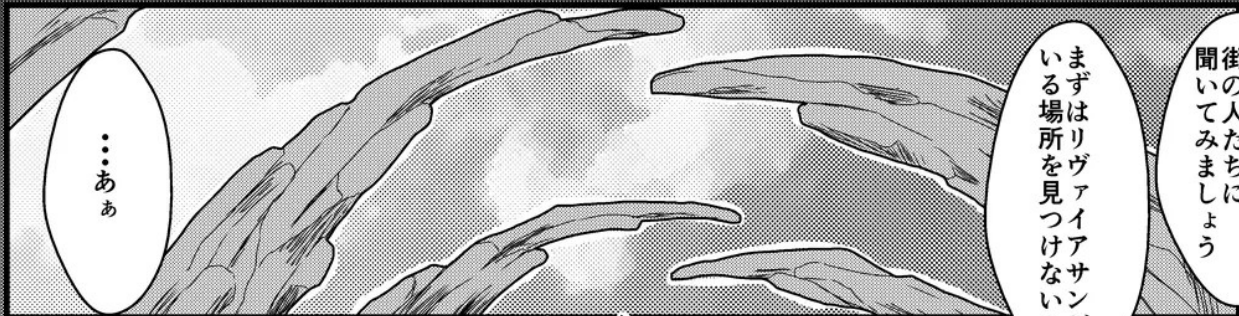


どうした？
ゼルノス

…いや…
何でもない…

…？

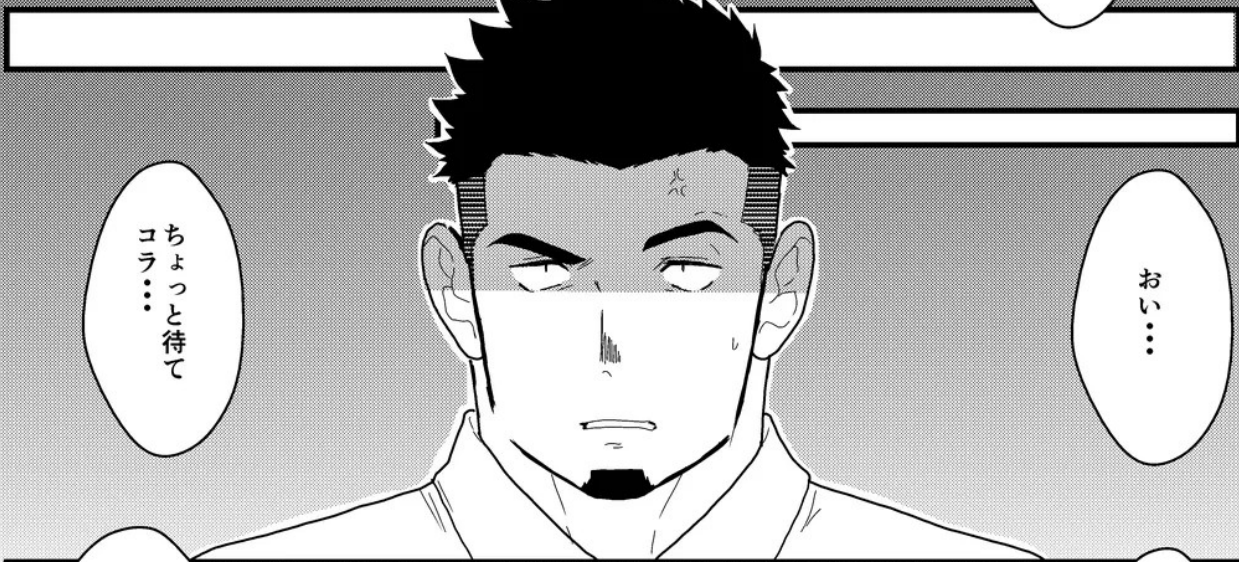




…ああ

まずはリヴァイアサンが
いる場所を見つけないと

とにかく
街の人たちに
聞いてみましょう



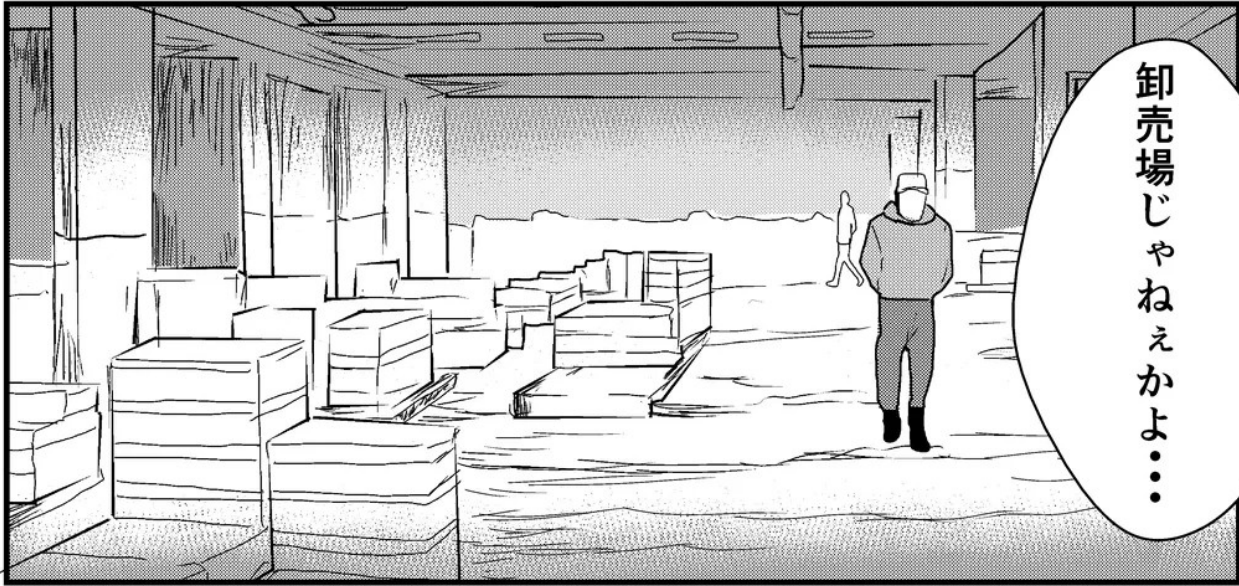
ちょっと待て
コラ…

おい…



リヴァイア
産業…

漁業組合…



卸売場じゃねえかよ…

ちよんぶり
はい!

あーいよおッ
あーいよおッ
あーいよおッ

めっちゃ
セッてるーッ!!!

社長は珍しく
やってるんすよ

あの…
これ絶対
人違いだと
思いますけど…

…いや…

あの力強い声…
張るエネルギー…

ああ…

確かに
リヴァエアサンですね…

どこのやねん!!!
どう見ても
市場のオッサンやん!!!
あんたたちって
ほんとバカ!!!



とにかく話しかけてみましょう

そうだな
ハギユヨーグ
頼む

ここは勇者のお前に託そう

なんで俺!?

あの...
リヴァア...さん...

俺達...
貴方の力を
借り...

...あ?



見て分かんねえのか!!!
今大事なセリ中だ!!!

おととい
来やがれい
イソギンチャク
野郎どもが!!!

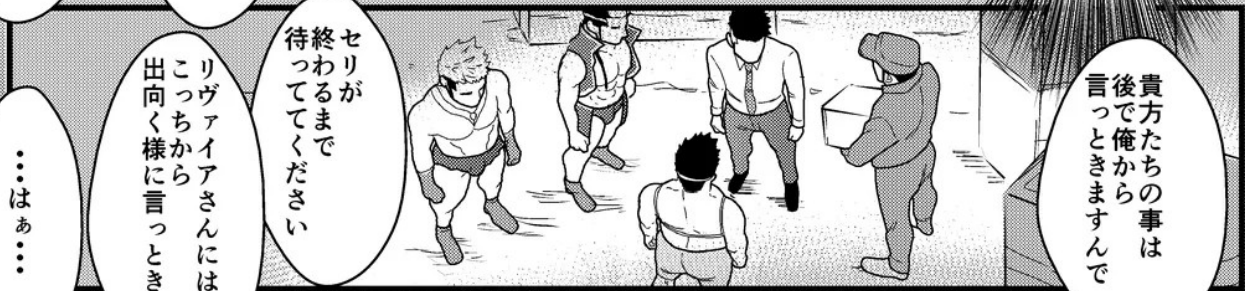


なんかわけわかんない
例えで罵倒された...

今は話しかけない
方がいいっすよ

普段は温厚なんです
がセリになると
人が変わっちゃうんで

そうなんすか...
つか早く言えよ
それ...



貴方たちの事は
後で俺から
言っときますんで

セリが
終わるまで
待っててください

リヴァアさんには
こっちから
出向く様に言っときます

...はあ...



すまぬ……

せつかく
出向いてくれたのに
あんな言い方を
してしまった……



いや……いいですよ
イソギンチャク野郎は
意味わかんなかった
ですけど

お前が
かの有名な
勇者ハギユヨグか

……はあ
そうなるんすかね
もうこの際
勇者じゃねえっていう
否定は控えときます



それで……
私の力を
借りたいと……

ええ
黒の存在に
立ち向かうには
リヴァイアさんの
力が必要なんです

もう
リヴァイアサン
じゃなくて
リヴァイア「さん」
つつてるし

すまぬ……
本来なら
私は水を司る者として
力を貸してやりたいが……

今は
真の姿に
戻れなくなって
しまっているのだ……

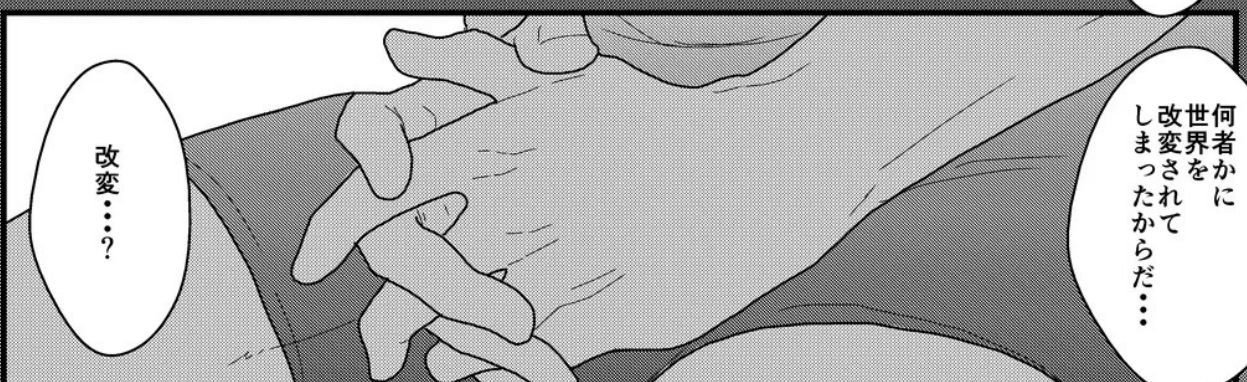


真の姿って...
やっぱり
水龍...?

いやまあ...
ゲームする人だったら
誰でも知ってるでしょ

でも...
何故戻れねえんだ?
この世界の守護神の
一つでもあるお前が...

その通りだ
良く知ってるいな
勇者よ



何者かに
世界を
改変されて
しまったからだ...

改変...?



確かに私は
この世界の三大神として
創造主から据えられた
存在だった...

そうか...
だからあんなにも
強大な魔物達が闊歩する
様になってしまったのか

だが...

何者かが
この世界の理を
変えてしまった

私も...
いつの間にか
本来の姿にか
戻れなくなっ
てしまったのだ

水龍としてではなく...
人間という姿に...

守護神を貶め
魔物達に力を貸し
この世界の秩序を
乱す存在...

黒の存在...

ちねつとちよつと...
もうなんか
凄い事になってねえか?
これ...

でも……
だからって
何で水産業……

少しでも
民の力に
なりたかつた
からだ

新鮮な魚を
水揚げし

それがあの市場を
作った理由であ
私なりの誠意
持った仕事

それを
よりよい形で
提供する……

人間の姿に
貶められたとはいえ
私は水の守護神……
民の為に何か
出来る事は
ないかと考え……

なんか
情熱大陸みたいなど
話になってますけど
もうこの際
葉加瀬太郎の曲とか
かけときますか？

それでは……
貴方の力は……
今封印されている
状態……

神の力は
得られないと
いう事か……

すまぬ……
私も真の姿に戻れるのなら
お前達に
分け与えたいのだが……

今はこの通り
虜の身……

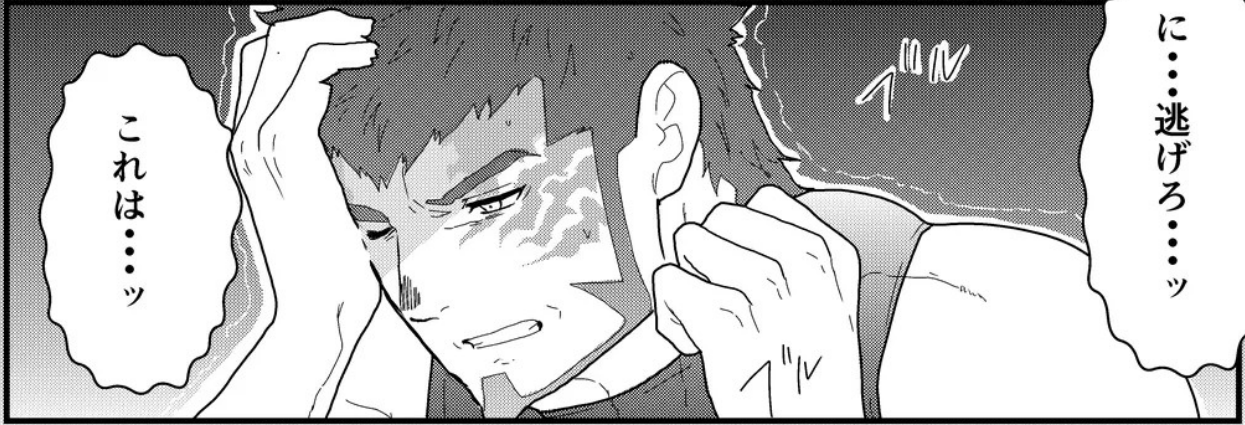


……うッ

ど……どうしたんですか？
リヴァイアさん……

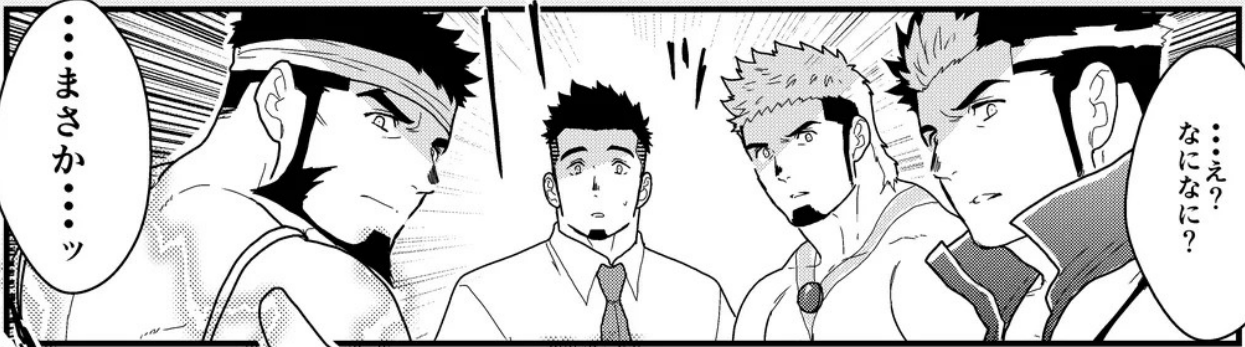
頭が……ッ
割れる様に……ッ





これは……ッ

に……逃げろ……ッ



……まさか……ッ

……え？
なになに？



え!!
どうしちゃったの
みんな!!



下等な人間種族が...

我が前にひれ伏すがいい...



お前は...ッ!



これは...ッ

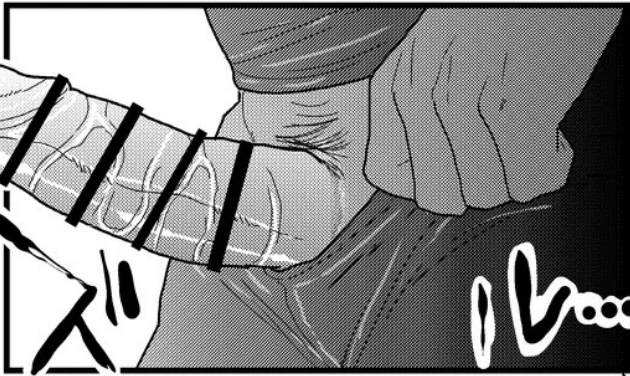
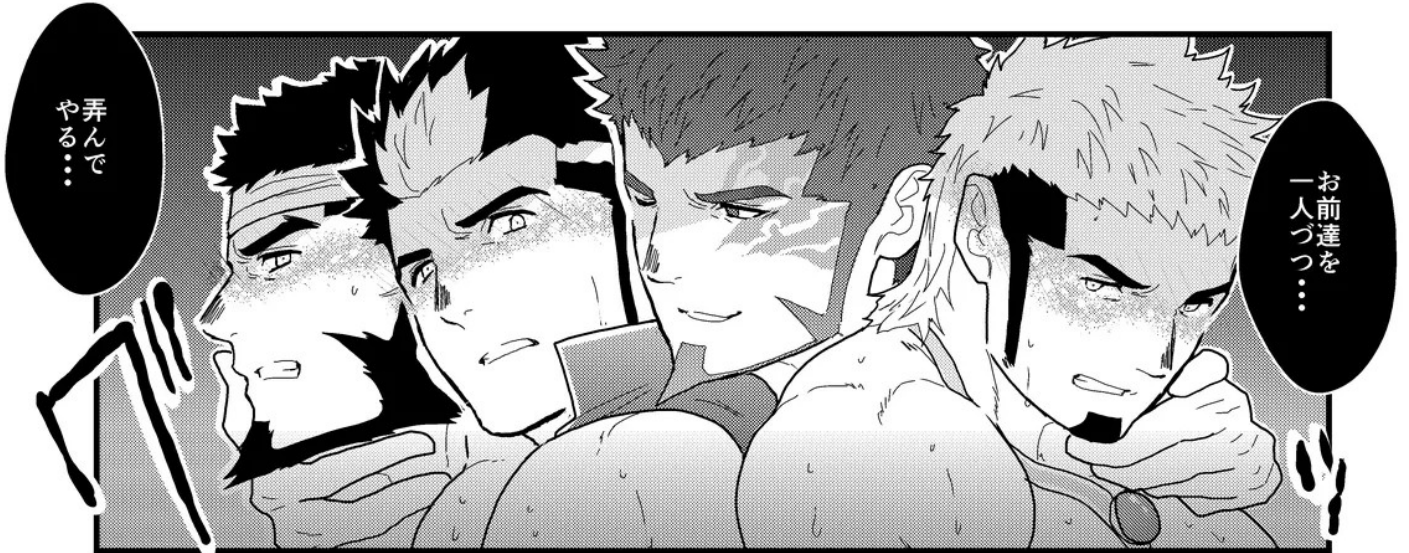
まさか...意識を刺激されて暴走を...ッ



どうし...急に...ちやっただんですか...

り...リヴァイアさん...?







まずは
お前からだ...

魔導士...



何で
突然...

どうして...ッ
さっきまで
普通に会話
してたのに...



俺にしてみれば
ラッキー☆



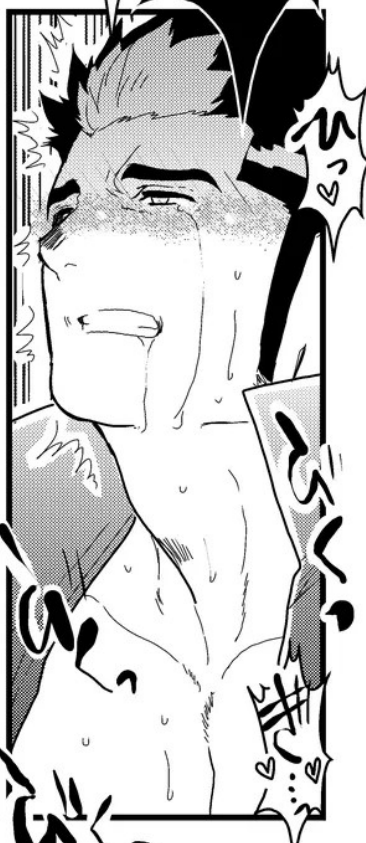
何故...だと?

お前達
下等な生き物には
答える必要も
ない...

ああうッ

...なぜ...ッ

問う事自体が
正に愚問!!!



あうッ
おん
あうッ
おん
あうッ
おん



ミカエラさん……ッ!!!

もう終わり……ッ!?

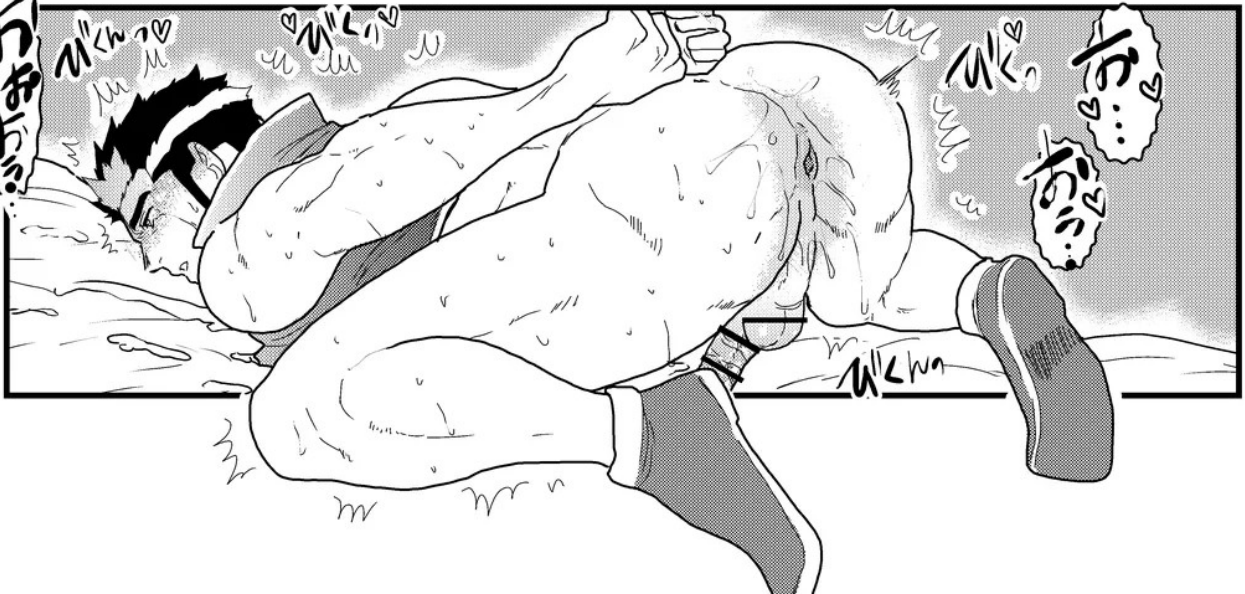
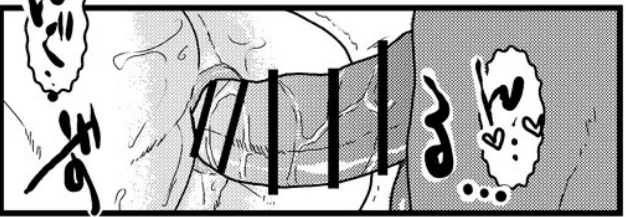


ふん……
この程度で
もうイキ果てるとは……

大した者では
ないな……

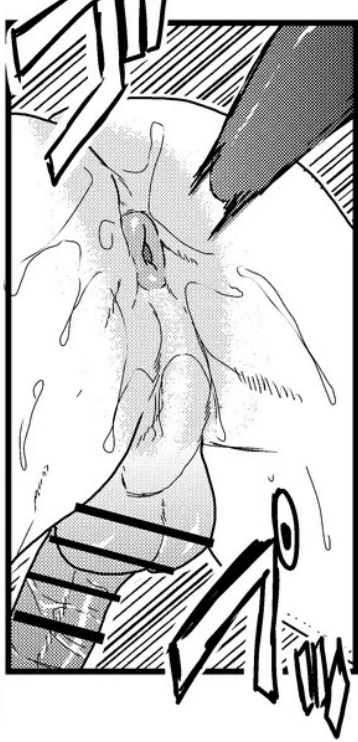
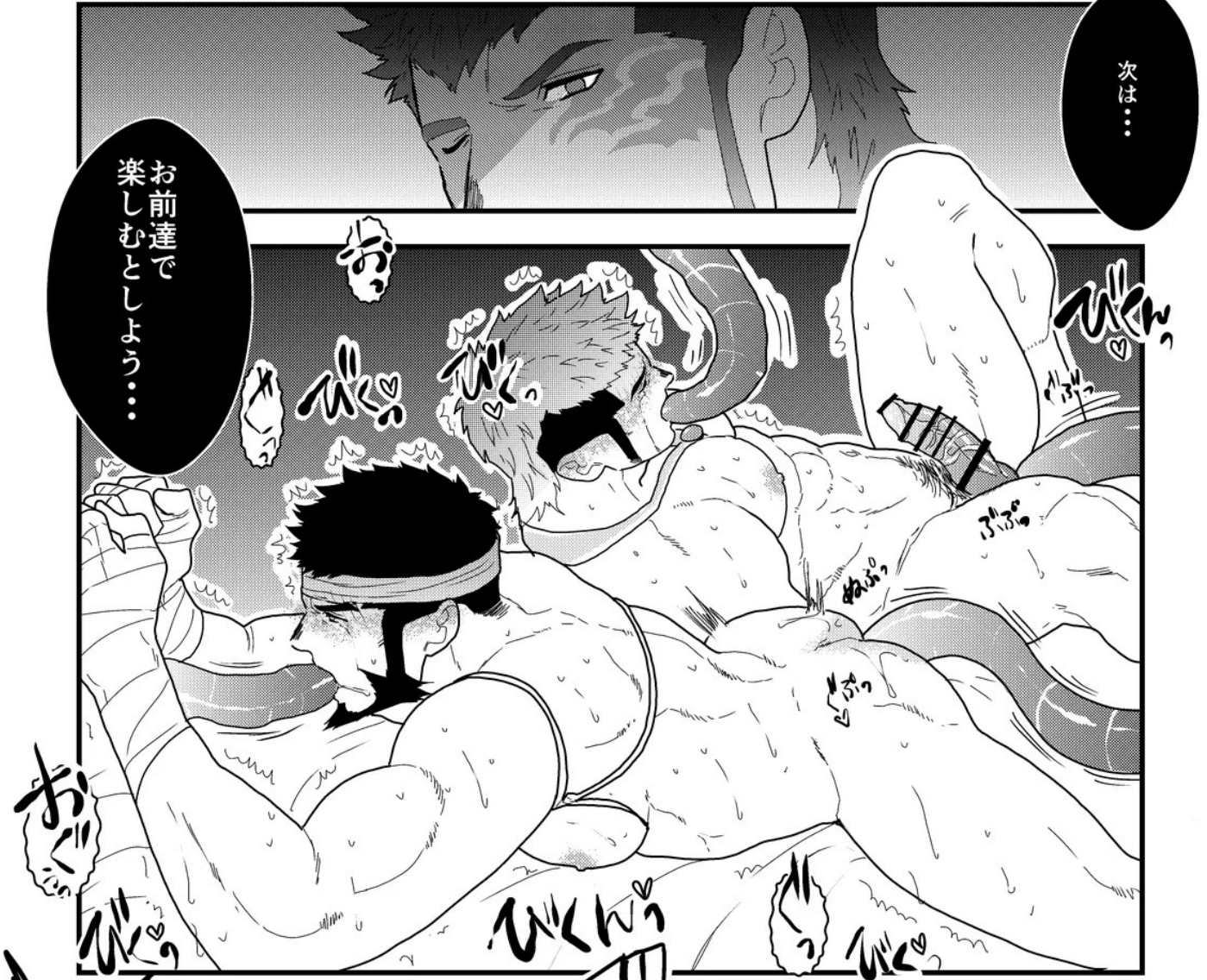


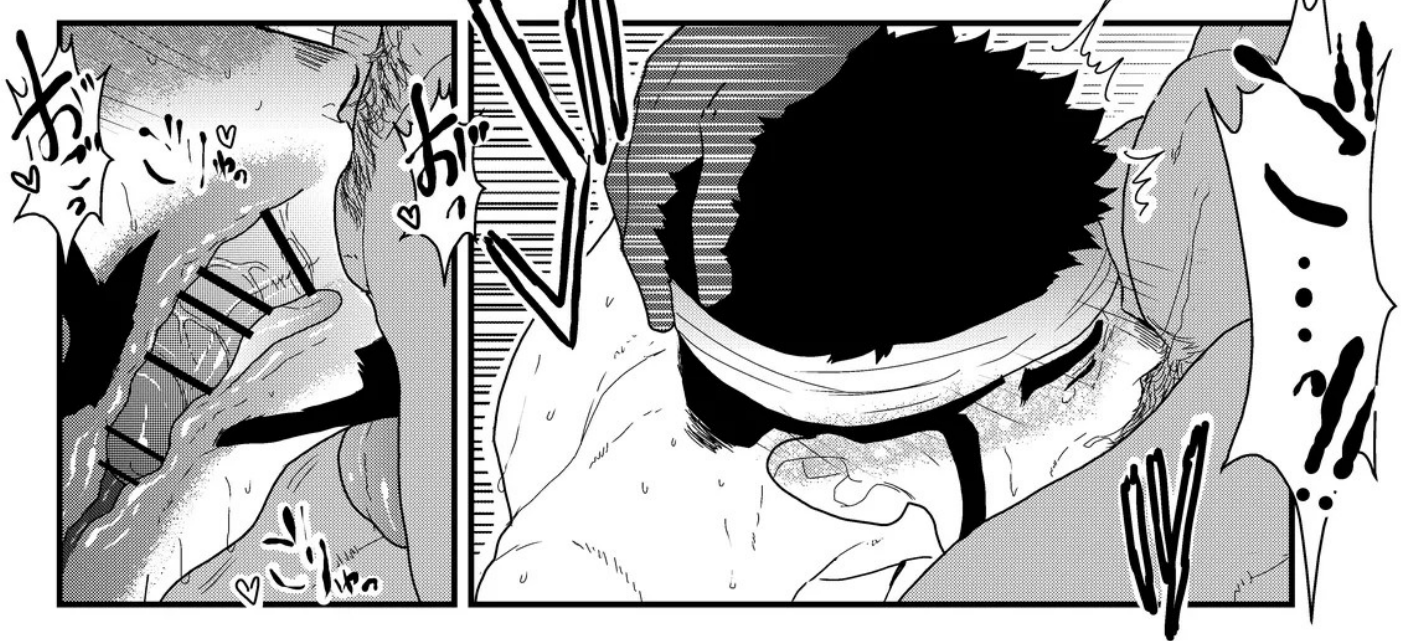
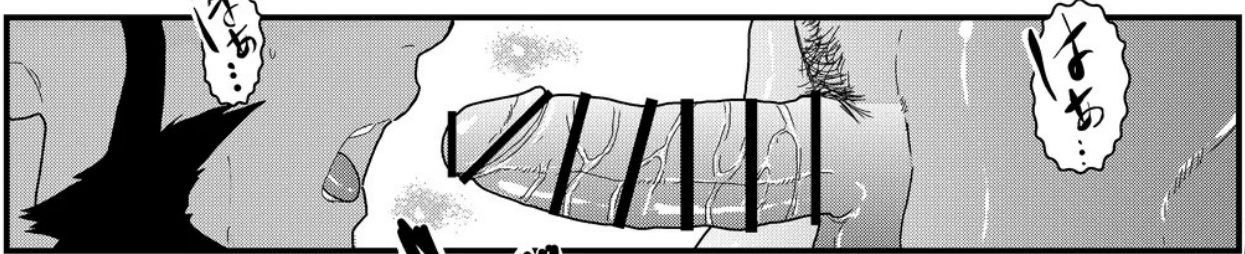
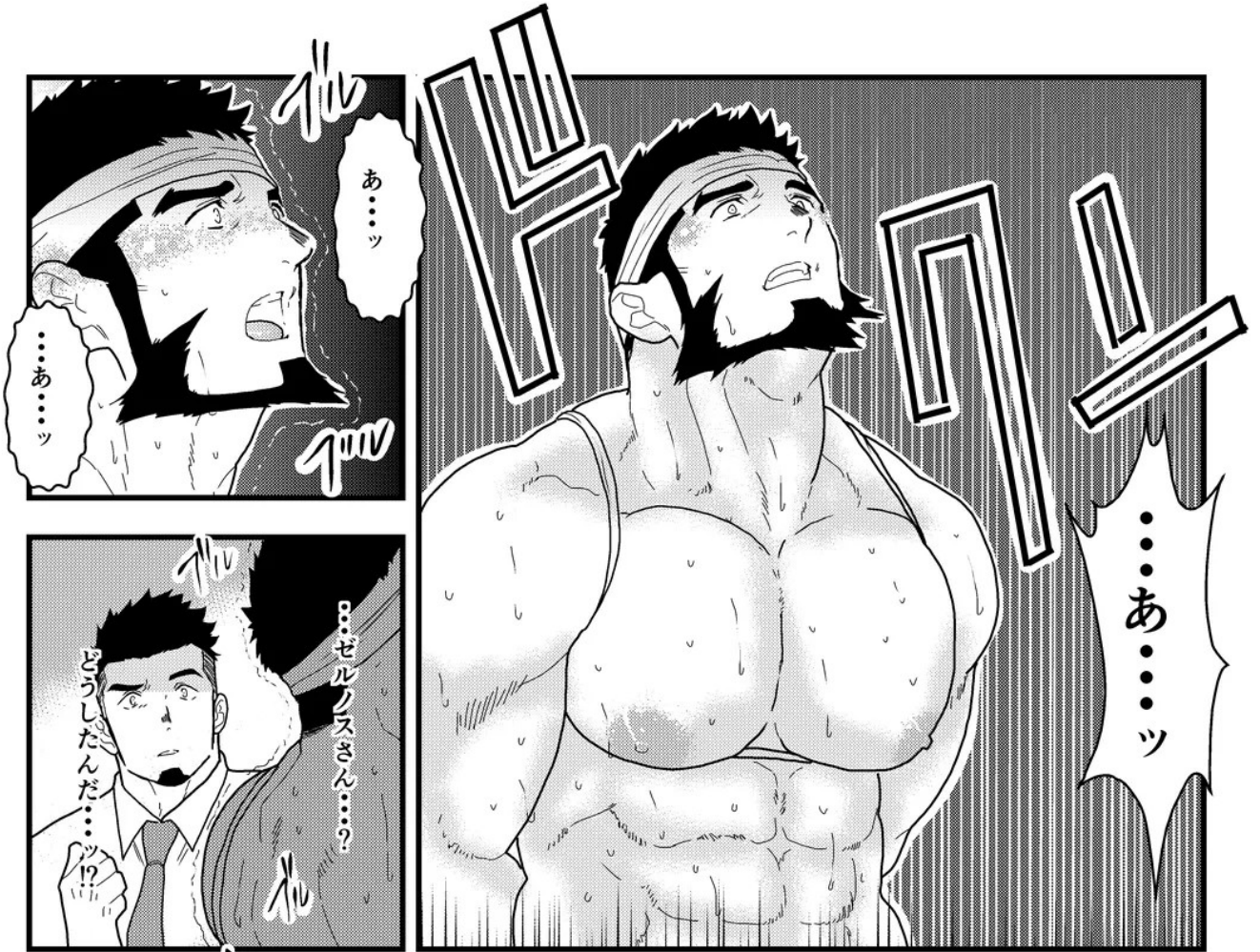
久しぶりの
エロシロインが……ッ



次は…

お前達で
楽しむとしよう…







何だこの状況……ッ
 もう急展開の
 しつちやかめつちやか
 過ぎて
 何が何だか……ッ



凄
 ない……
 なんか凄
 い事に
 なって
 ーッ!!!



所詮お前達も
 こうなってしまえば
 ただの操り人形と
 同じ……

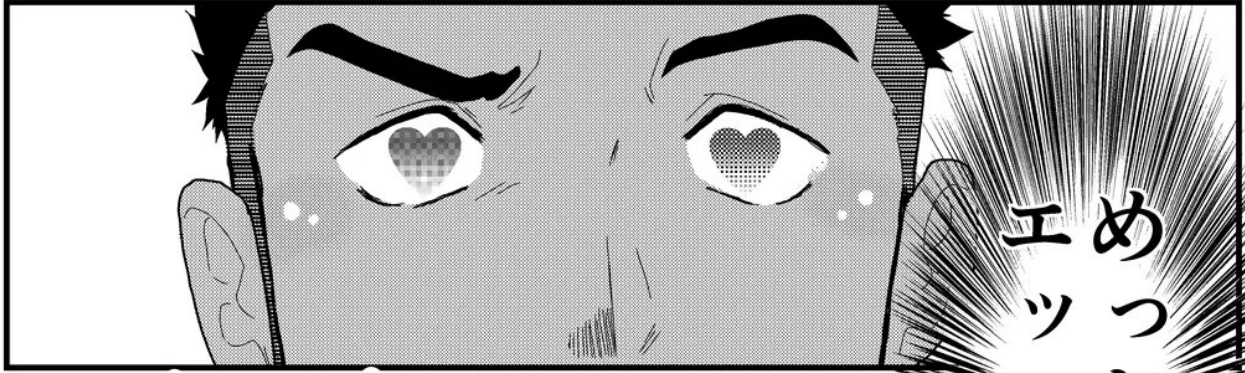
我が力を
 貸すまでもない……



でも……ただ……
 一つだけ
 言える事は……



その程度だったと
 いう事だ!!!



めつちや
エツロー☆



……なら……

中が
きつくなって
きたな……

そろそろ
果てたくなって
きたのか……？



仲間と思う存分
出してやるがいい!!!



まだ
もう一人...



あ...



あ...

あ...



少しは骨のある男だ...

これだけ強く突き上げてもまだ理性を保てるとは...

絶対...ッ
屈したりなど...ッ

俺...は...ッ



その強がりも...

どこまで耐えられるのか
楽しみだ...

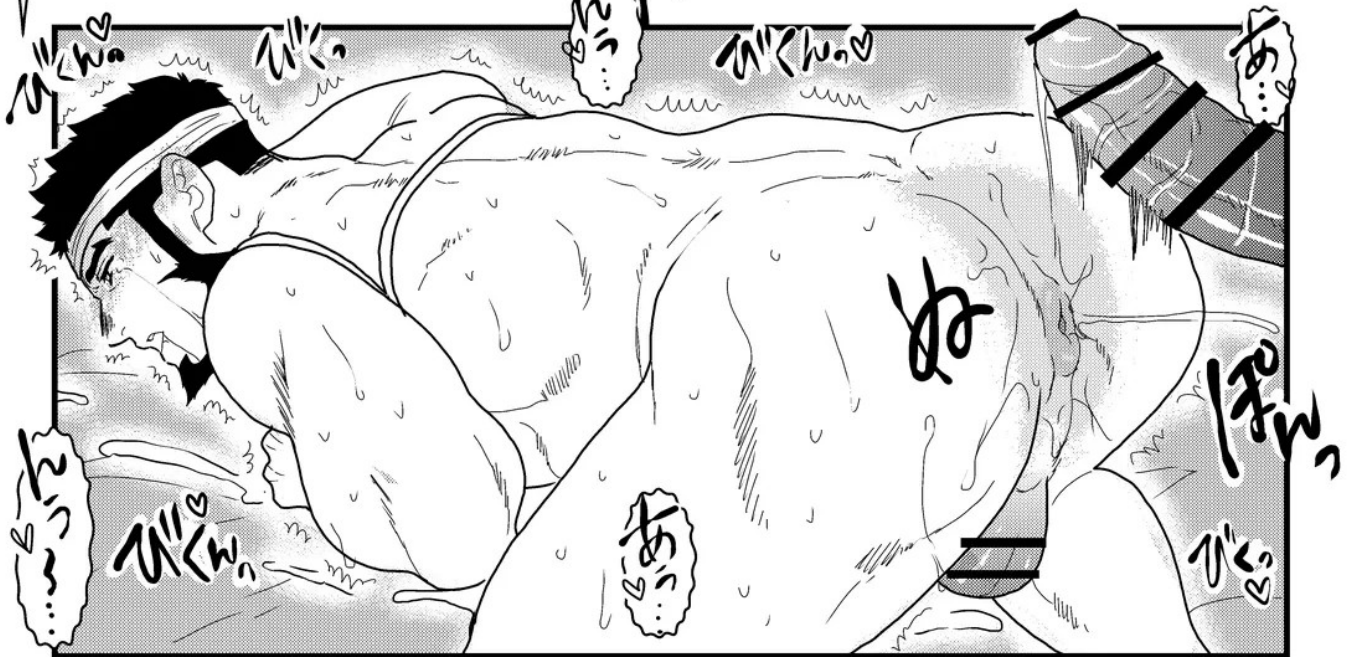
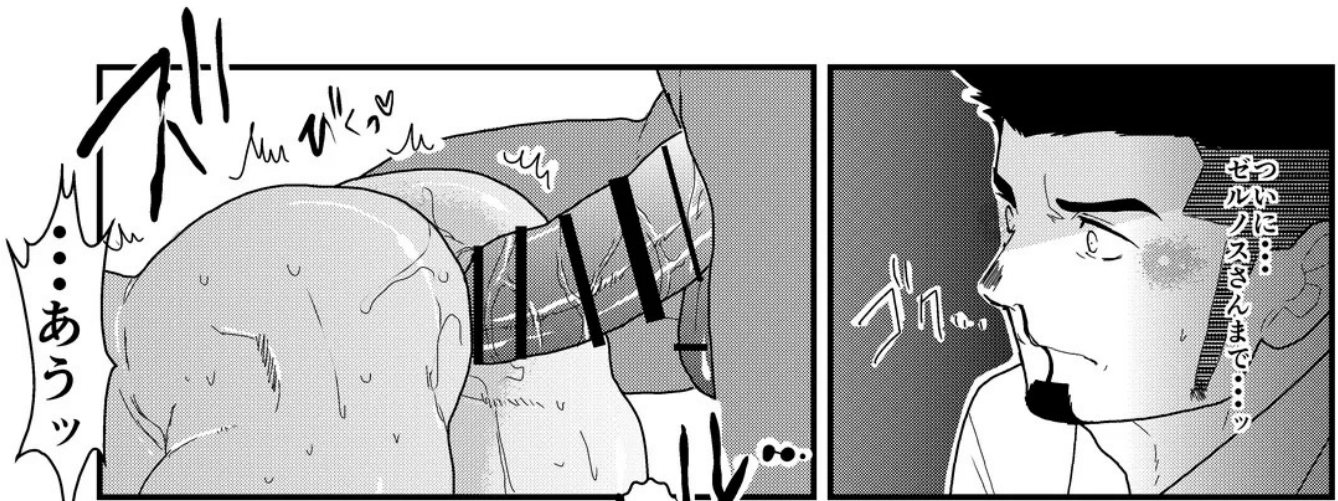


一人...
また一人...

強靭な男を前にして
なす術もなくほられてしまう
屈強な男たち...

...これは...
これはまるごと...

仲間が犯されていく...



どんな風に
弄んでやるか...

えッ!?

ちょちょちょッ
待ってください!
俺ネコじゃねえし...ッ

俺なんて犯しても
何も楽しくないっすよ!

ねえったら!
ちょ...お願い
近づかないで...ッ



天の声!!!
聞こえるか!!!

おい!!!
返事しろ!!!

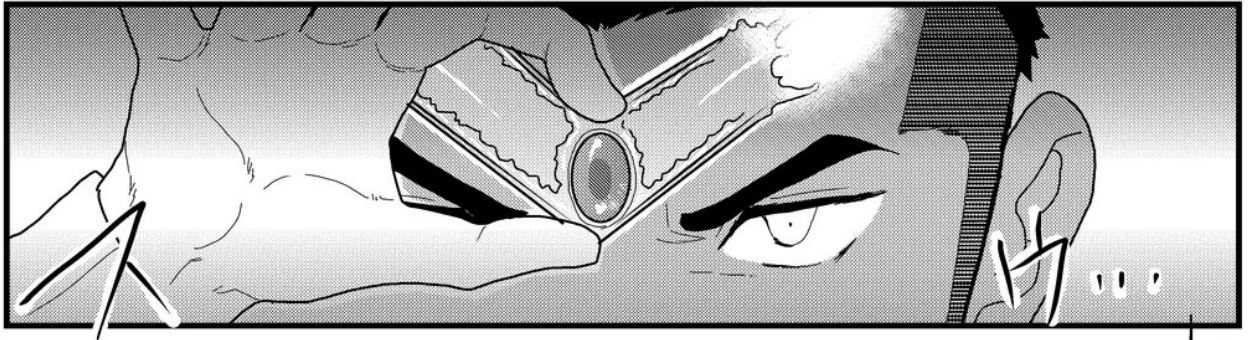
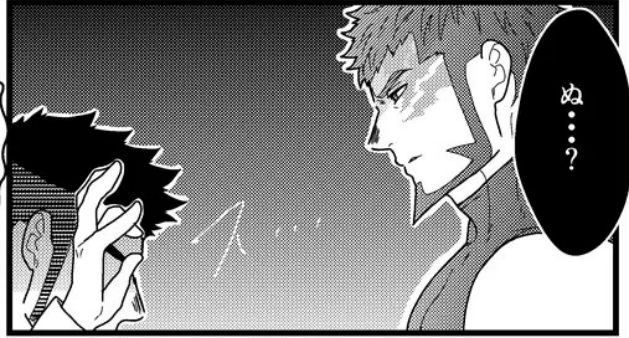
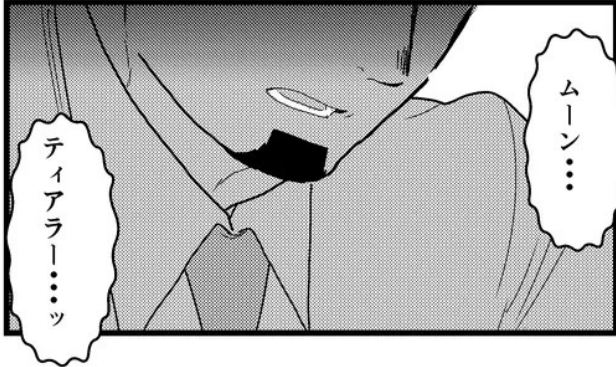
あがいても
無駄だ...

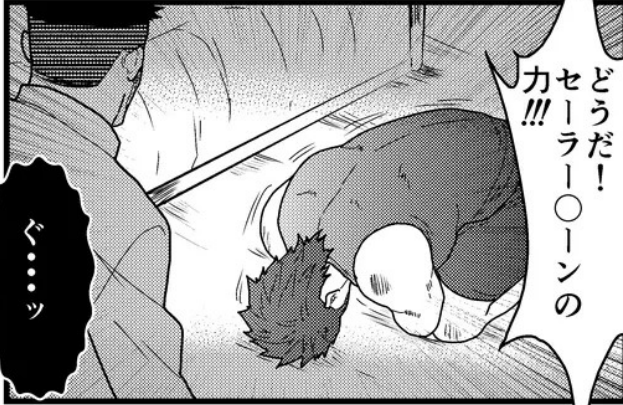
...ッ!?

くそ...ッ
こうなったら...ッ

またしても
あいつこんな時に...ッ!!!

くそ...ッ!!!





どうだ！
セーラーオーンの
カ!!!

ぐ……ッ



キマッタ……ッ



月に
かわって……ッ



……げッ
天の声……

人が映画に
夢中になってる時に
何がおしおきだよ



おしおきよッ!!!

何やってんすか
貴方



いや……これは……
なんだ……ッ
暴走した
リヴァイアさんを
止める為に……

……いい歳こいた
オッサンが
ムーンテイアラ
アクションって……

お前……ッ
どの時点から
覗いてたんだ!!!

だいたいお前だつて映画見てる場合じゃねえよ...

危うく犯されかけたんだぞ俺...

そうなんですかっていっその事もみくちやにされれば良かったのに

普段仲間が犯されるのを興奮しながら傍観してる鬼畜野郎なんだから...

で...誰に犯されそうになつたんですか? その好きは...

それは...そこにいるリヴァアイアさんに...

リヴァアイアサン...?

...いや...ただのガタイのいいオッサンじゃないですか

そうだよガタイのいいオッサンだよ

真の姿に戻れなくなつたんだとよこの世界の理が改変されたかなんかで...

それで急に眼の色が暴走し始めて...

...は? ...は? ...は? ...は? ...は? ...は? ...は? ...は? ...は? ...は?

確かにリヴァアイアサンはキャラとして作りましたが

私ちゃんと水龍としての姿で作りましたよ?

それに...

世界の理が変わつたなんてシナリオ...

は...わたし...

...おい... どうした? ...天の声...

...聞こえなくなった...

またバグが生じたのか...?

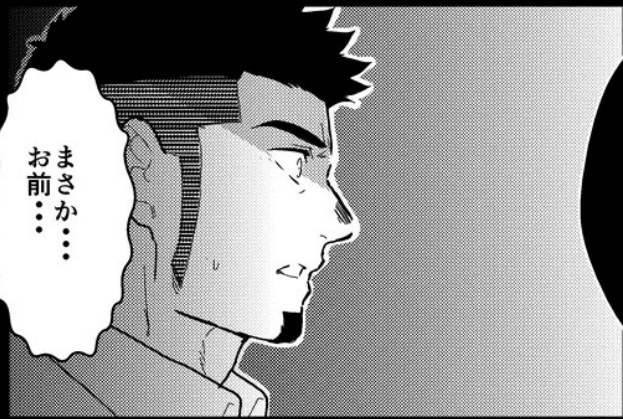
...!

...お前は...

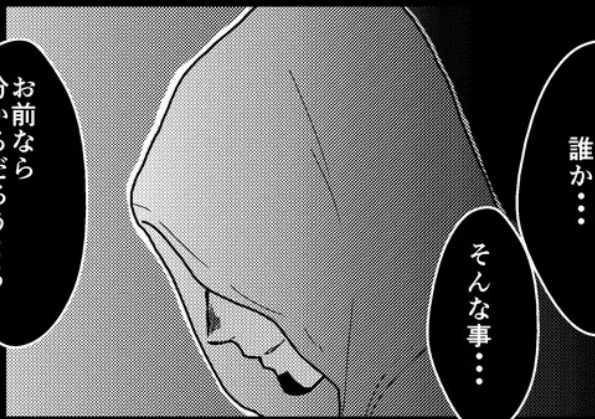




誰だ……？



まさか……
お前……



お前なら
分かるだろう……？

そんな事……

……俺が
誰か……



強くなれ……
萩洋一……

お前には……

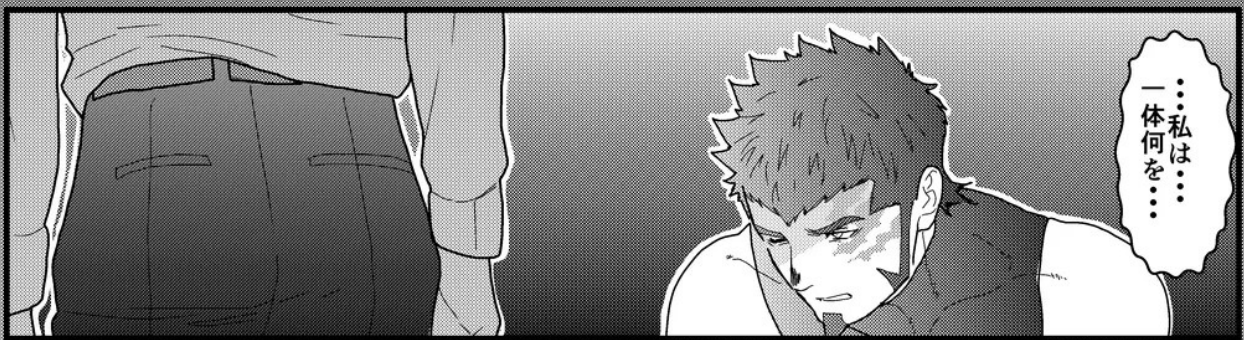
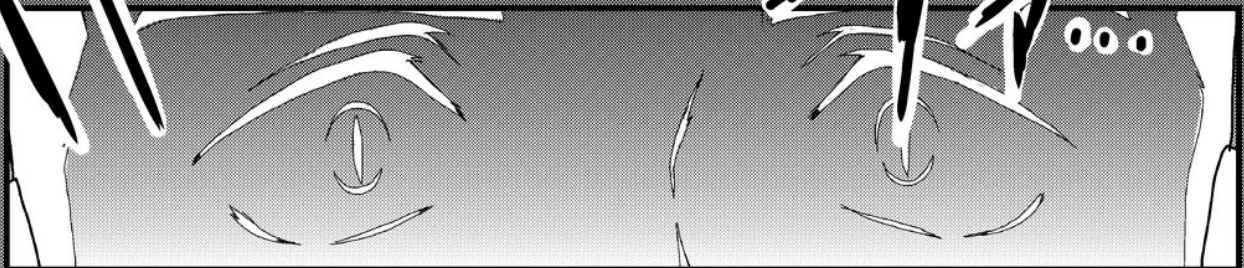
来たるべき時が
来るまで……

力をつけて
もらわなければ
ならない……



黒の存在……

そう……
お前達が言う……





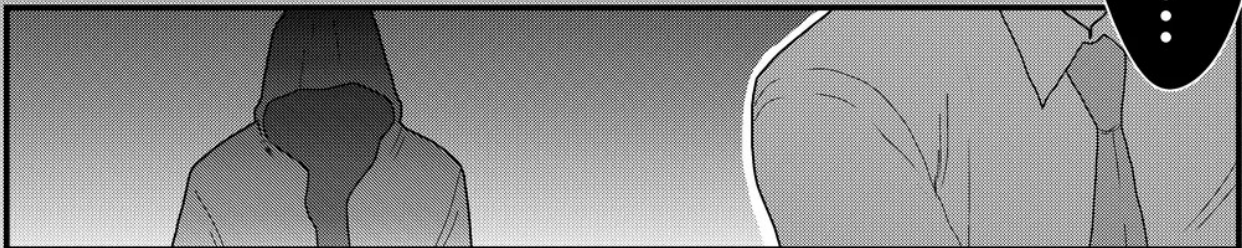
俺が
覚醒させて
やるよ……

そんなに
元の姿に
戻りてえなら……



……ッ

リヴァイアサン……



あん♡
ずん♡
ずん♡



あん♡
ずん♡
ずん♡

あん♡
ずん♡

ずん♡

…なら
逃げてみるよ…
お前なら出来るんだろ？



どうした？
さっきまでの
威勢は

いぎ掘られる
側になると
このざまかよ



あああん♡
あひ♡

ずん♡
あん♡



私は…♡

やめ…ろ♡
ハギユヨーグ…♡

あれだけ
あざけ笑ってた
下等種族に

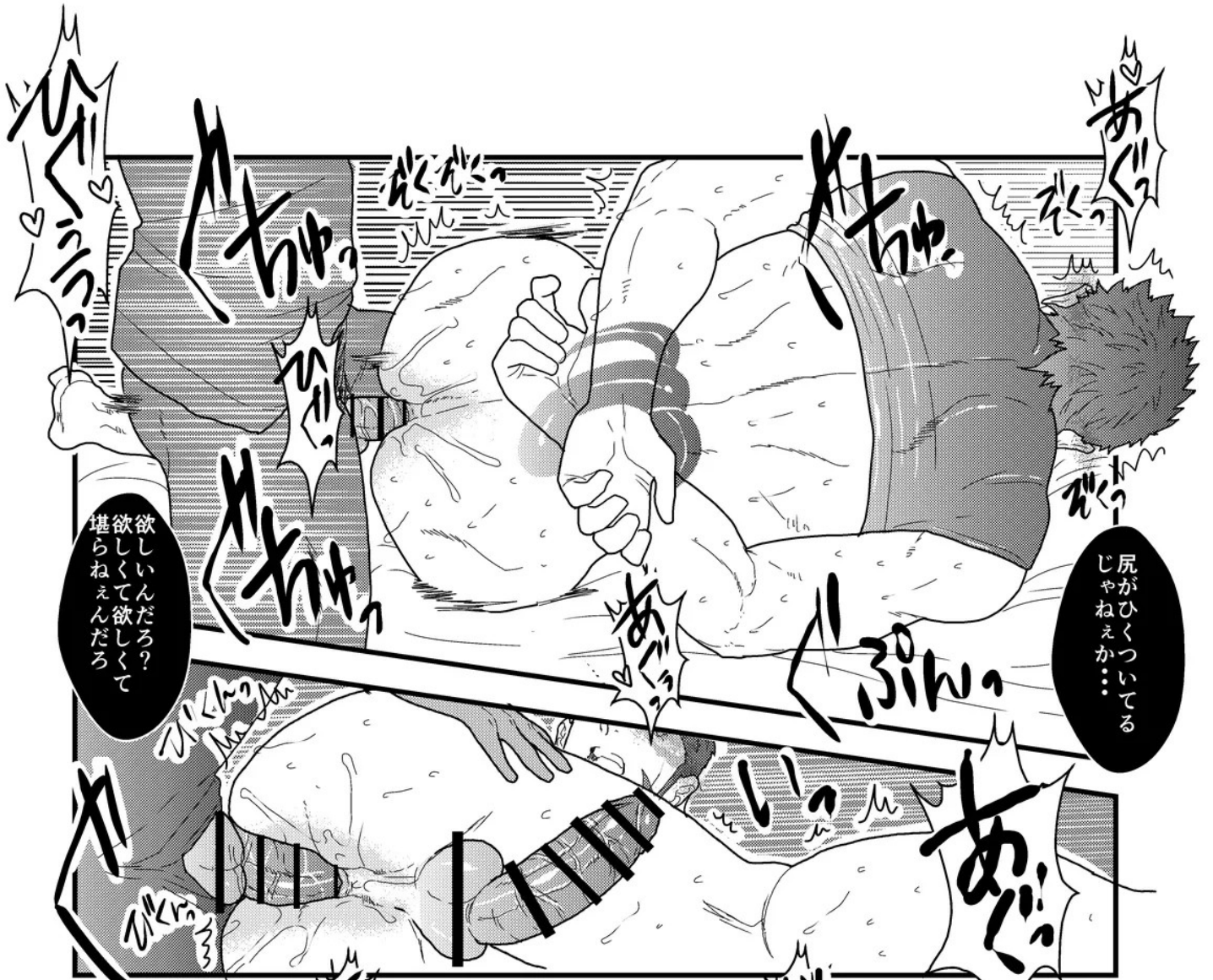
足払げて
喘いでるお前は
恥ずかしくねえのか？

守護神なんて
所詮それくらい
存在だったのかよ

や...め...
私...は...
...ツ

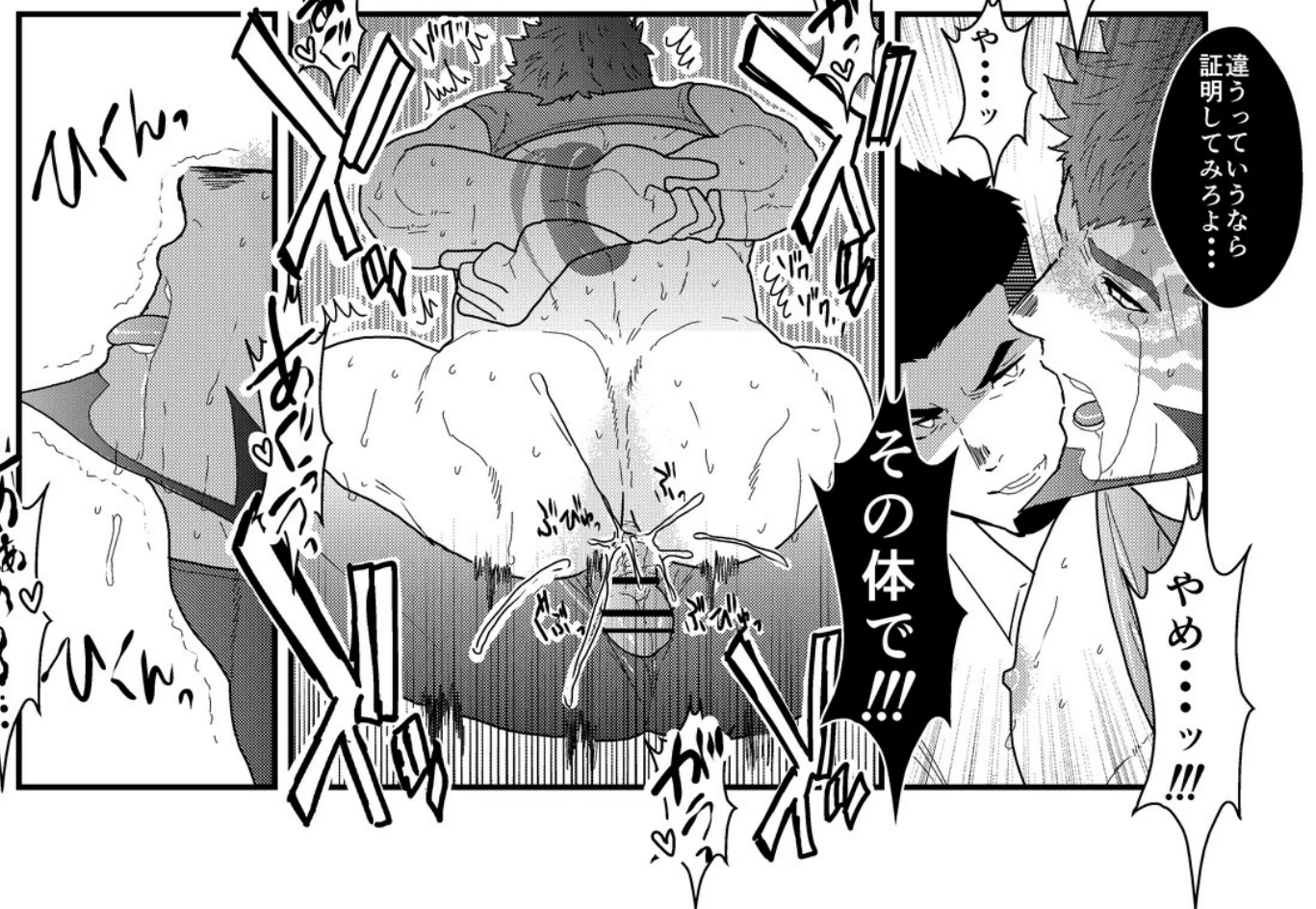
もっと
情けなく
泣いてみるよ





欲しいんだろ？
堪らねえんだろ

尻がひくついでる
じゃねえか…

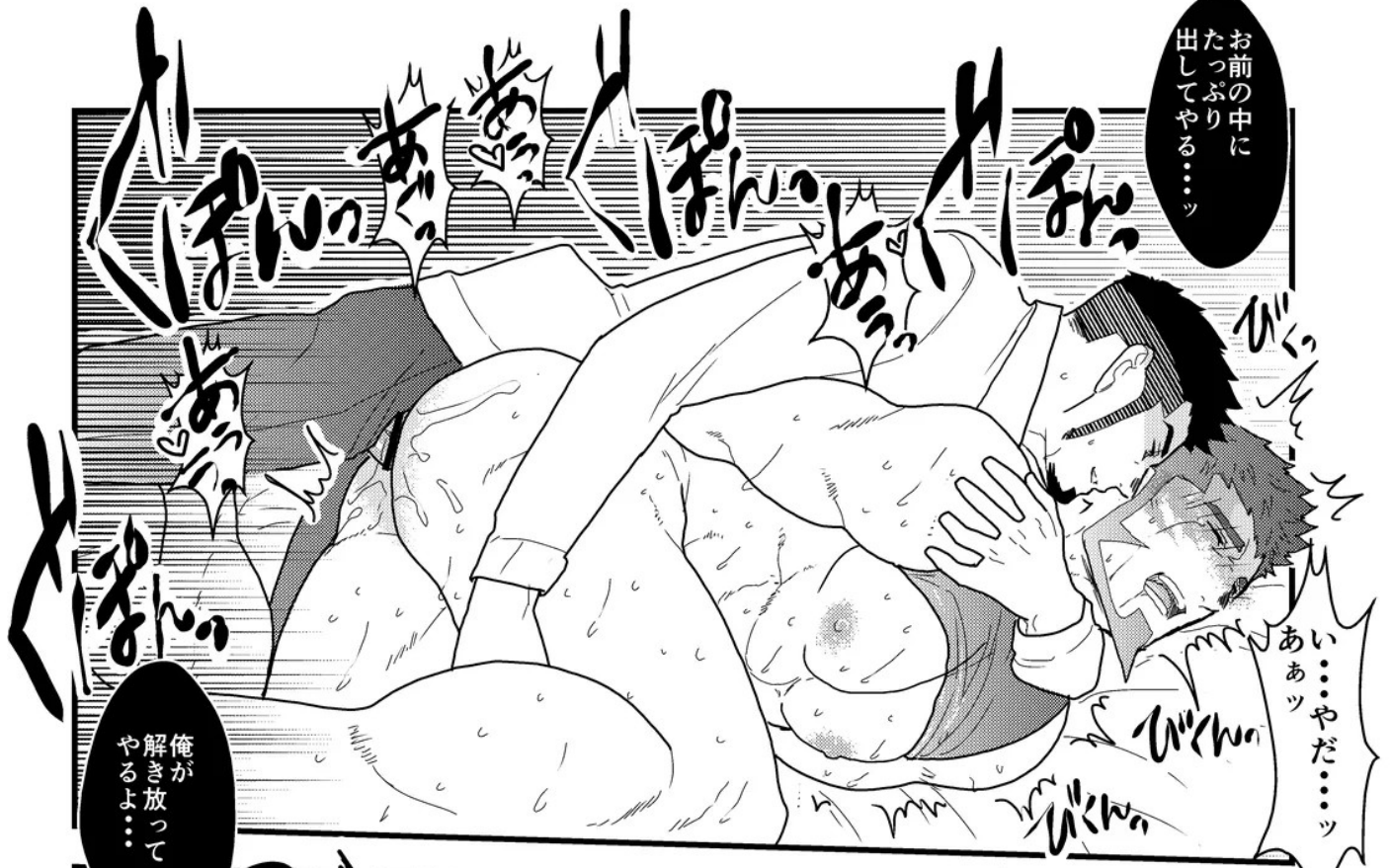


違っつていうなら
証明してみろよ…

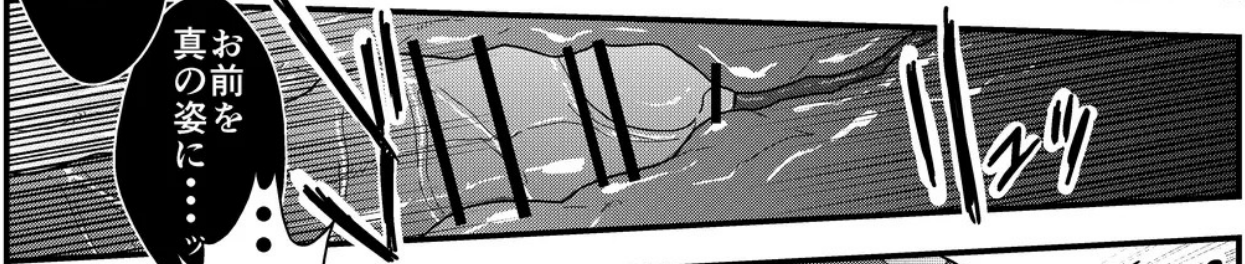
その体で!!!

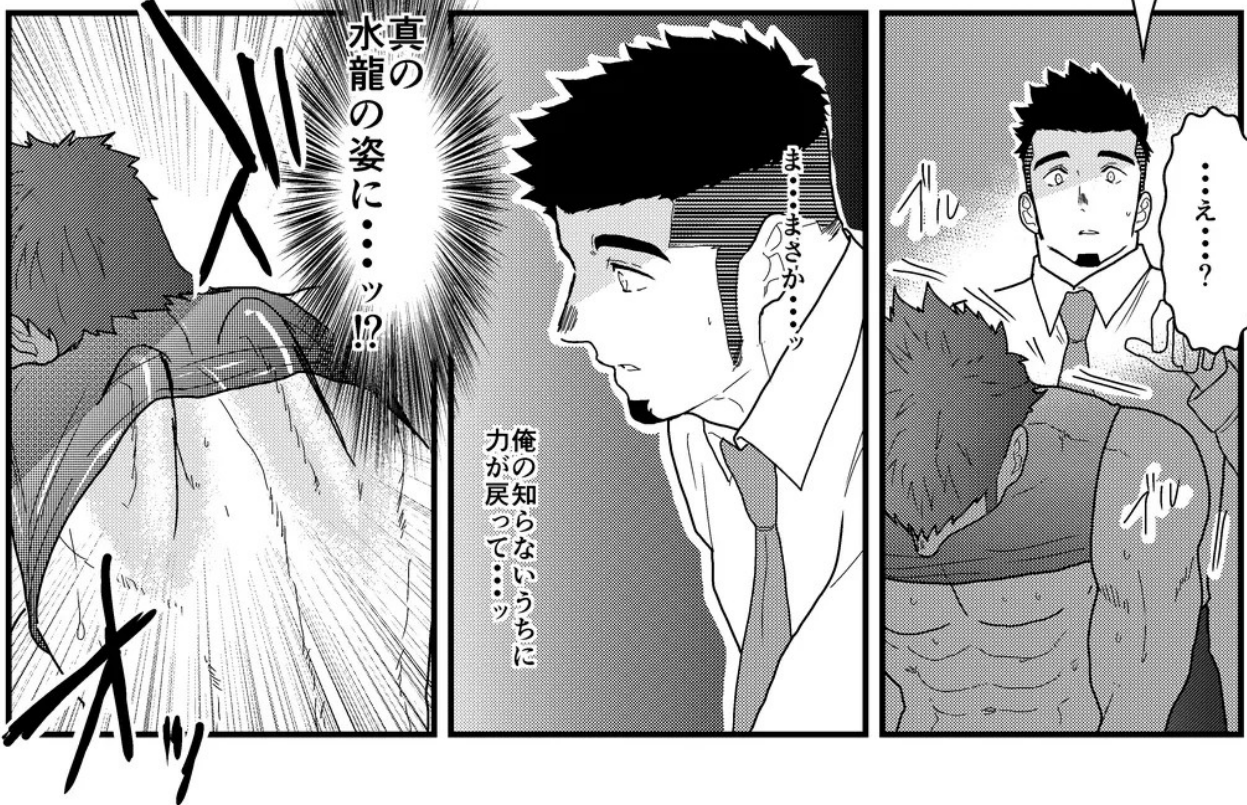
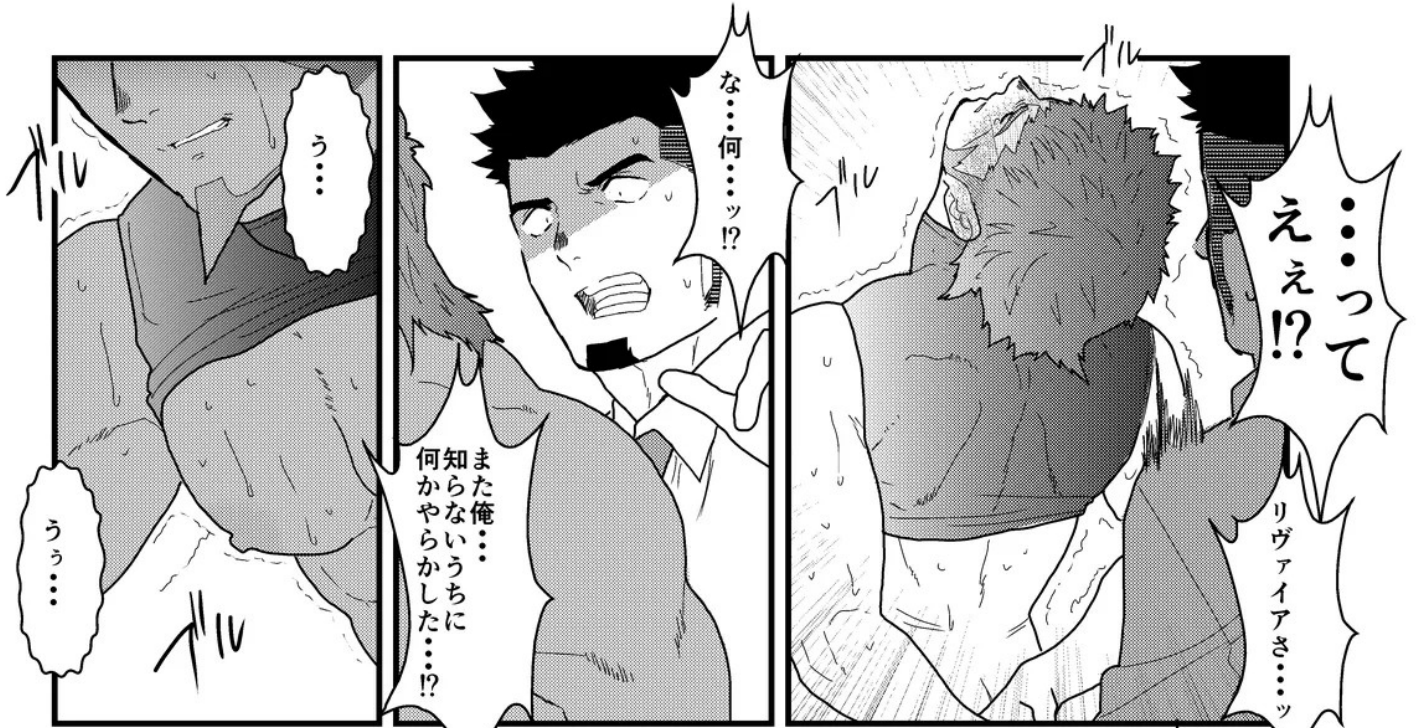
やめ…ッ!!!

お前の中に
たっぷり
出してやる……ッ

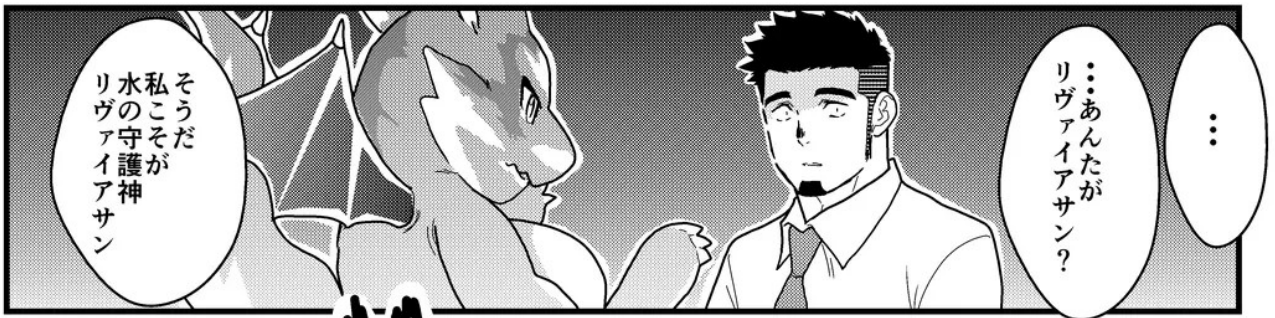


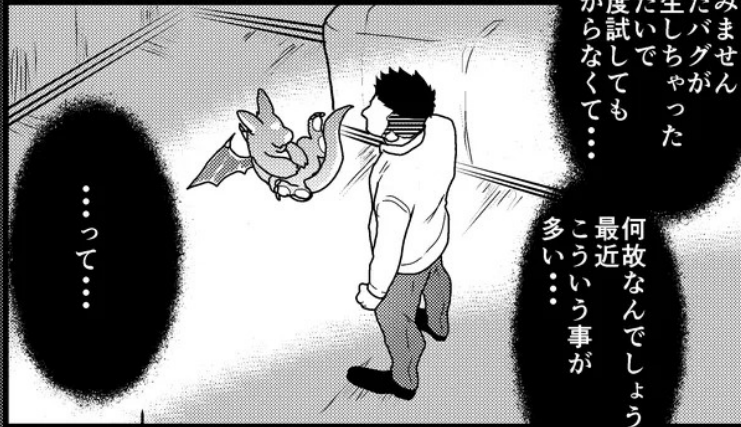
俺が
解き放って
やるよ……











……って……

すみません
またバグが
発生しちゃった
みたいで
何度試しても
繋がらなくて……

何故なのでしょう……
最近
こういう事が
多い……



……あ……
繋がった

お
よう
天の
声



何が
おかしい
!!!

なんです
そのポ○モン
みたいな
変なの



だから
何を笑っている!

あ……そうだった

早く
回復させましょう

それよりも
また仲間たちが
倒れてる
みたいです

曲がりなりにも
私はこの世界の
守護神の一つなんだぞ!
それをさっきから
クスクスクス……ッ



……あ……

……そうですか
ようやく
リヴァイアサンの
力が……

とりあえずは
人間から
戻れる事が出来た



礼を言う

…しかし…
お前達には悪い事を
した様だ…

誰かに
意識を刺激された
とはいえ…

…何の事だ？



…覚えていないのか？



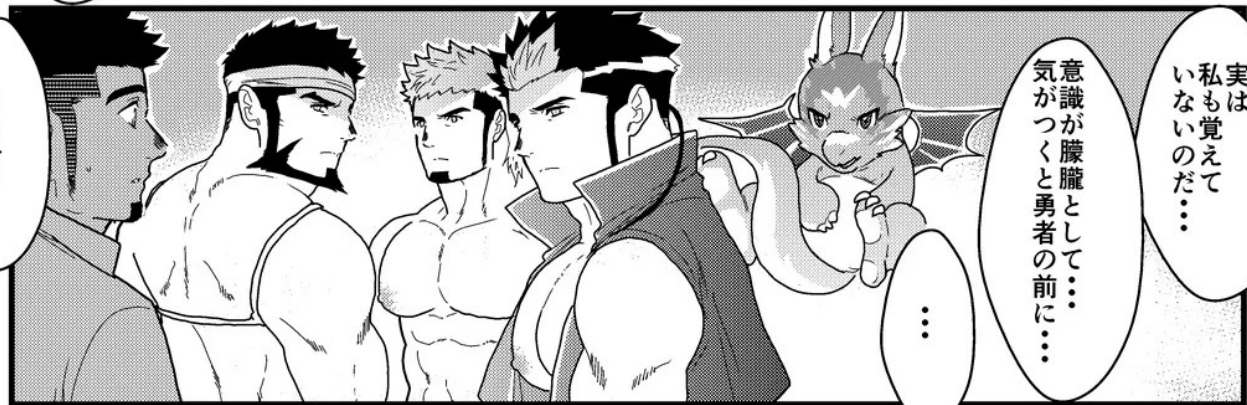
ああ…
貴方が
目の色を変えた所までは
覚えてるのだが…
それ以降は…

…

実は
私も覚えて
いないのだ…

意識が朦朧として…
気がつく勇者の前に…

…



…え？

い…いや…
俺も何も覚えてないっすよ！

な…
何があったのかなー
なんちゃって…



…これも黒の存在の
仕業かもしれませぬ…

意図的に
私達の記憶を
消している可能性が…

そ…
そーかもね…





まあ毎回の事だから
もう突っ込む気力も
ありませんけど…

どうせ
見てたんでしょ
あなたの事だから

oooooooo



そろそろ臭い
芝居はやめたら
どうですか？

この変態…

……ッ
!!!



でも
リヴァイアサンとの
一件は俺も
覚えてねえんだ！
この前の
ゼルノスさんの時も
そうだけど…

ほんとですか？
にわかに信じがたいん
ですが…
貴方何しですか
分かんないから…

本当だっ
嘘なら
上手に嘘
つくと
わ！



だいたい…
お前に嘘ついて
どうすんだよ
四六時中監視
されてる様な
もんなのに…

…まあ…
それもそうですね…
一理あります



…どうしたんですか？



だとしたら…
貴方のその記憶も
他のキャラと同様
黒の存在というものが
消しているんでしょうか…

……



その黒の存在って
奴だ……
自分で名乗ってたから
間違いない……

ああ……

……会ってしまったって……
まさか……

……会っちゃったんだ……
俺……



ただ……？

……



そんな……
じゃあ……
貴方は……
そこで記憶を……

……ただ……



萩……洋……って……
何故貴方の名前を……

……分からねえ……
でも……
この目ではつきりと
見たことは確かだ……

黒の存在……
奴は確実に……
この世界にいる……
そして……俺の事を……



お前には……
来たる時が来るまで
力をつけてもらわなければ
ならない……

強くなれ……
萩洋……



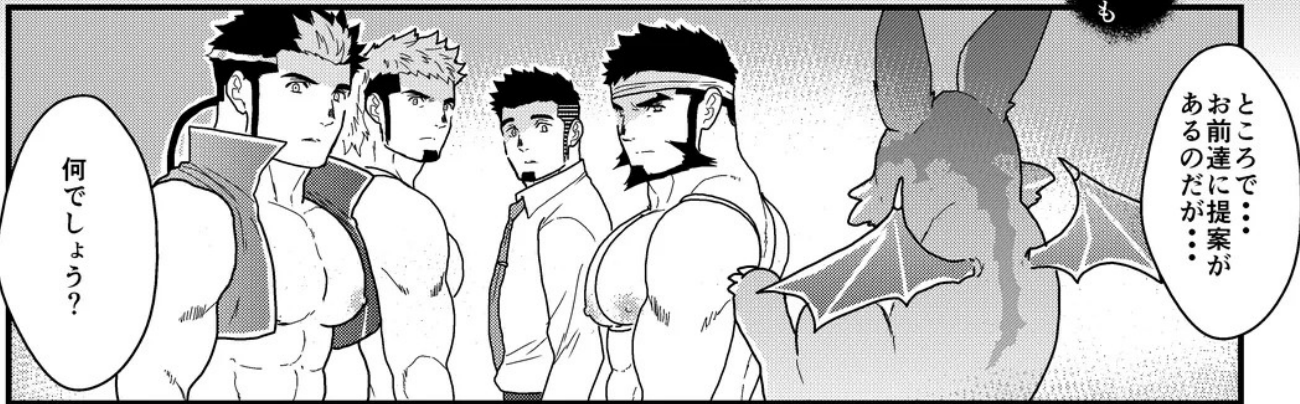
…分かりました
私もその件については
もう一度こちらで
調べてみます

もしかしたら…
私達が思うよりも
ずっと危ない存在かも
しれない…

黒の存在…
それは…

貴方を狙って
いるのかも
しれませんから…

…ああ…
頼む…



ところで…
お前達に提案が
あるのだが…

何でしょう？



私はこの通り
まだ完全体という
わけではない…

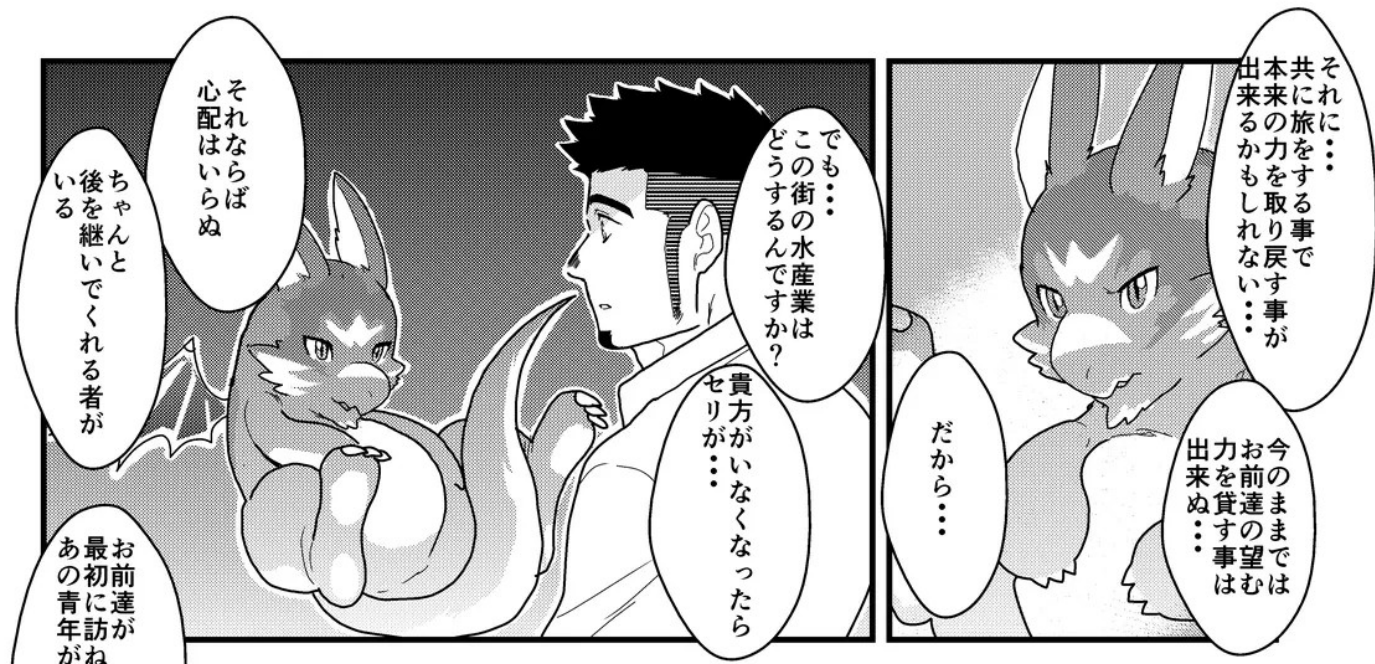
ある程度の
力は得られたが
本来の姿に戻るには
まだ力が足りぬのだ…

そこで…

私も共に
旅に赴く事は
出来ぬだろうか…

私もこの世界を変え
私この存在すらも
貶めた黒の存在というものを
この目で確かめたい

そして…
祖奴が…
元凶ならば
私も守護神の名において
野放しには出来ぬ…



それに...
共に旅をする事で
本来の力を取り戻す事が
出来るかもしれない...

だから...

今のままでは
お前達の望む
力を貸す事は
出来ぬ...

でも...
この街の水産業は
どうするんですか?

貴方がいなくなったら
セリが...

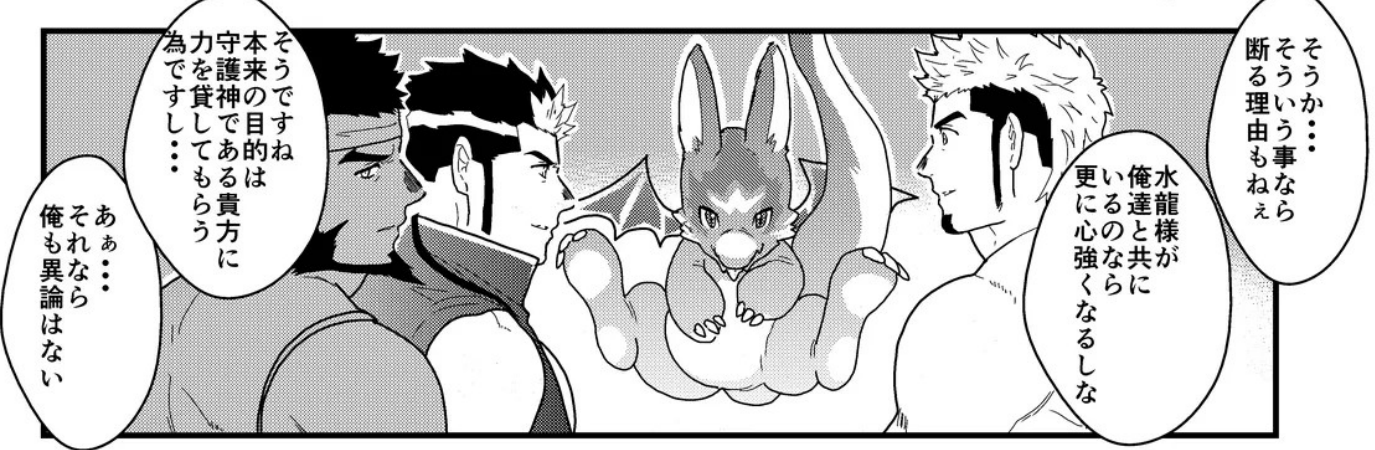
それならば
心配はいらぬ

ちゃんと
後を継いでくれる者が
いる

お前達が
最初に訪ねた
あの青年がそうだ...



あ...
あの子...



そうか...
そういう事なら
断る理由もねえ

水龍様が
俺達と共に
いるのなら
更に心強くなるしな

そうですね
本来の目的は
守護神である貴方に
力を貸してもらう
為ですし...

あ...
それなら
俺も異論はない



黒の存在を
追いつめ...

奴の正体を
暴くためにも...

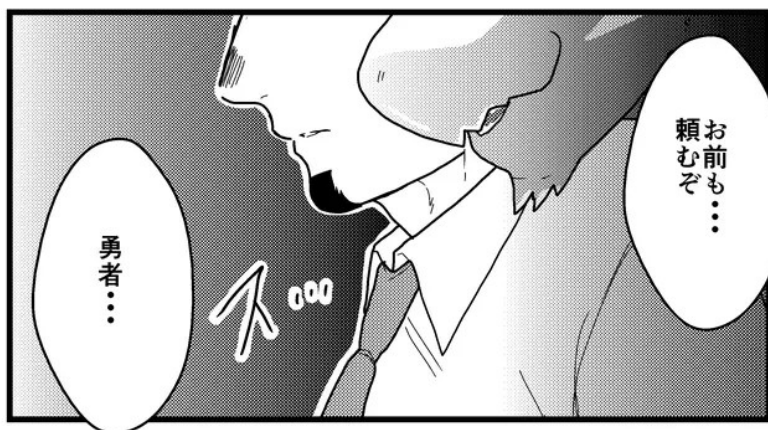
...!



そうなれば
また旅の続きだ
よろしく頼むぞ
守護神様

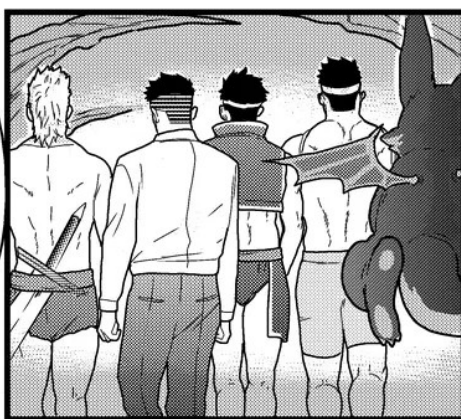
私達が
必ずお守り
いたします

ああ…
よろしく頼む



お前も…
頼むぞ

勇者…



…え？



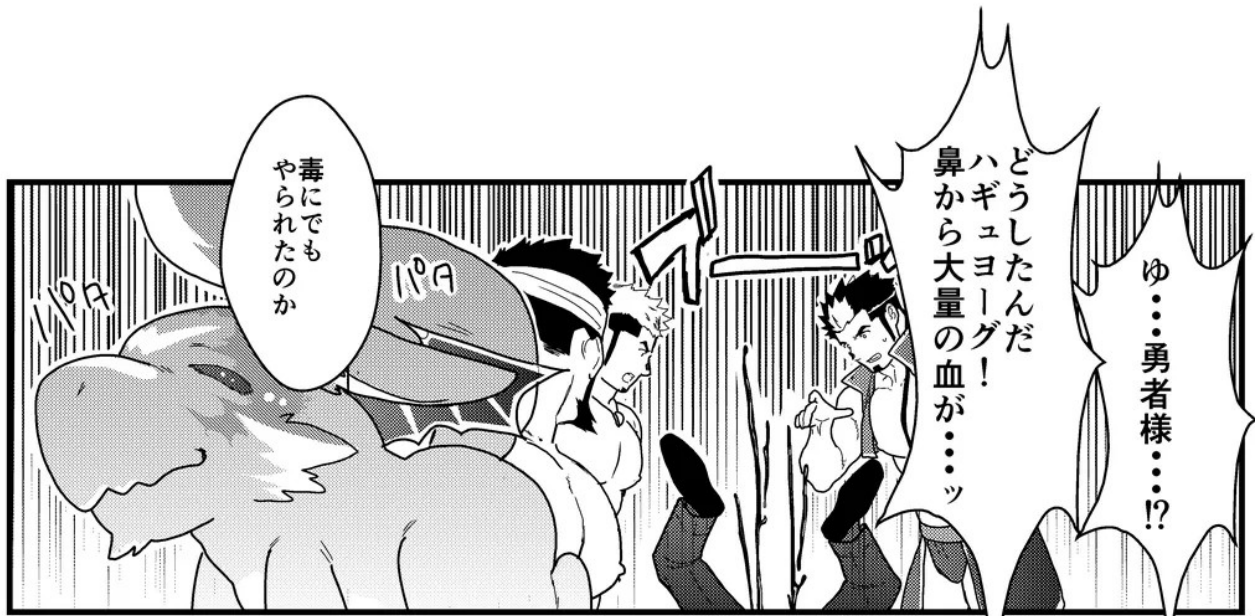
どうやら
力を得るためには
お前の肉体も必要な
様だ…

お前が望むならば
私はいつでも
人間の姿に戻る事も
出来る…

また私を
好きにだけ
抱くがいい…

それが
私の力にも
なりうる…

頼むぞ…
勇者よ



あとがき雑談

わっしょい！

てなわけでも、碇夕でございます。

最近**家電が壊れる壊れる！**

こういうのって立て続けに壊れると言いますが、
本当ですね。

ついに布団乾燥機まで壊れてしまいました。

つっても、本体が壊れたわけではなく、温風を届ける筒？のようなものが

壊れただけなので、まだまだ使えますが……。

なんだか最近テレビも調子悪いし……ヤバスです。

私ケチなので、ちよつと壊れただけでは買いなおさないタイプなのです。

昔からお金がない貧乏家族の一員として育ったので、

おばあちゃんやおかあちゃんから、金は命より大事と言われ続けてきたので、

そのせいもあるかと……くそー！変な事教えやがって！

てなわけで、まあ下らない話は置いて……。

はい！出来ました！

今回はまたまた続きものになります。

どうなの……これ……。

一応、ちゃんと終わりは考えているのですが、

うまくたたためるのかどうか……。

多分たためません☆（おい

でも、こんなへたっぴな漫画でも、このあとがき雑談まで読んでくれた方！

毎度ながら本当にありがとうございます！

成長というものを知らない私ですが、それでも読んでくれた事に凄く凄く感謝しています！

また続きを描くと思いますが、もし気になってくれたなら幸せです……。

それではまた！

ばいならつきよ！

碇夕さん。